

教委議案第25号

令和6年度使用の明石市立義務教育諸学校の教科用図書（小学校用教科用図書）採択のこと

令和6年度使用の明石市立義務教育諸学校の教科用図書（小学校用教科用図書）を採択する。

令和5年8月7日提出

明石市教育委員会教育長 北 條 英 幸

記

令和6年度使用の明石市立義務教育諸学校の教科用図書（小学校用教科用図書）については、別添教科用図書明石地区選定委員会答申書を基に協議し、採択する。

（提案理由）

本案は、教科用図書明石地区選定委員会の答申を受け、令和6年度使用の明石市立義務教育諸学校の小学校用教科用図書を採択しようとするものである。

答 申 書

令和6年度使用の義務教育諸学校の教科用図書
(小学校用教科用図書)の調査検討について

令和5年8月7日

教科用図書明石地区選定委員会

2023年（令和5年）8月7日

明石市教育委員会 様

教科用図書明石地区選定委員会
会長 筒井 茂喜

令和6年度使用の明石市立義務教育諸学校の教科用図書（小学校用教科用図書）の調査検討について（答申）

2023年（令和5年）6月15日付け、明教委学第540号で諮問のあった標記のことにつきまして、下記のとおり答申します。

記

教育委員会から諮問を受けました、令和6年度使用の義務教育諸学校の教科用図書（小学校用教科用図書）の調査検討につきましては、調査検討事項が多岐にわたりましたので、教科用図書明石地区選定委員会要綱に基づきまして、調査員会を設置しました。

同調査員会では、兵庫県教育委員会より送付されました「調査研究資料」等を参考にしまして、種目ごとに小学校用教科書目録に掲載されている発行者から明石市教育委員会に送付された全ての教科用図書について、綿密な調査研究を行いました。

その結果、選定委員会では、調査員が調査研究しました種目ごとの全ての教科用図書について慎重に審議し、教科用図書明石地区選定委員会設置要項第3条第2項により、令和6年度使用小学校用教科用図書については、「令和6年度使用明石市立小学校教科用図書調査研究報告書に基づく資料」をもって答申いたします。

なお、特別支援学級の教科用図書については、文部科学省検定済教科書、文部科学省著作教科書を使用する方向で、児童生徒の実態に応じて、学校教育法附則第9条の規定による一般図書を採択することとします。

令和6年度使用明石市立小・中学校教科用図書の採択に関する基本方針

明石市教育委員会

1 採択にあたっての基本的な考え方

教科用図書の採択にあたっては、いかなる疑念の目も向けられないことがないよう、公正性及び透明性の確保を徹底し、教育基本法、学校教育法、学習指導要領に加え、兵庫県教育基本計画である第3期「ひょうご教育創造プラン」・「第3期あかし教育プラン」の趣旨を踏まえながら、本市の児童生徒の実態に最も適した教科用図書を教育委員会が採択する。

2 本年度の教科用図書の採択

採択は、選定委員会の報告に基づき、教育委員会が決定する。

(1) 小学校

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の定めるところにより、本年度は採択替えを行う年度にあたるので、令和4年度と異なる教科書を採択できることから、採択の対象となる教科用図書を公平に調査し、本市の児童の実態に最も適合した教科用図書を採択する。ただし、「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に登載されているもののうちから採択する。

(2) 中学校

令和4年度に採択したものと同一の教科書を採択する。

(3) 特別支援学校及び特別支援学級

文部科学省検定済教科書（下学年用等）、文部科学省著作教科書を使用する方向で検討し、児童生徒の実態に応じて、学校教育法附則第9条第1項の規定による「一般図書（特別支援学校・学級用）」（以下「一般図書」という。）を採択する。

ア 文部科学省著作教科書

① 小学校

「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の定めるところにより、本年度は採択替えを行う年度にあたるので、令和4年度に採択したものと異なる教科書を採択することができることから、採択の対象となる教科用図書を公平に調査し、本市の児童の実態に最も適合した教科用図書を採択する。ただし、「小学校用教科書目録（令和6年度使用）」に登載されているもののうちから採択する。

② 中学校

令和4年度に採択したものと同一の教科書を採択する。

イ 一般図書

一般図書については毎年度異なる図書を採択することができるが、その際、文部科学省発行の「令和5年度用一般図書契約予定一覧」及び兵庫県教育委員会発行の「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書調査研究資料」を参考に採択する。

(4) 学習者用デジタル教科書の考慮について

- ア 教科書採択は紙の教科書を決定する行為であり、調査・検討の対象は紙の教科書であることを基本とする。
- イ 令和6年度以降、英語の学習者用デジタル教科書（以下「デジタル教科書」という。）が紙の教科書と併せて提供される予定であり、令和5年度の小学校英語の教科書採択については、小学校英語のデジタル教科書を調査し、考慮の一事項とする。

3 採択にかかる組織

教科用図書の採択にあたり以下の組織を設ける。

- (1) 小学校、中学校の教科用図書の採択については、義務教育諸学校教科用図書選定委員会を設置する。また、調査研究のために、教科ごとに調査委員会を設置する。調査委員会が教科用図書の調査研究を行い、義務教育諸学校教科用図書選定委員会が報告を行う。

4 採択結果及び理由等の公表

教科書の採択結果及び理由等採択に関する情報の積極的な公表に取り組み、採択に関する説明責任を果たす。

5 公正性・透明性の確保

(1) 規範等の遵守

- ア 校長、教員をはじめ採択関係者は、文部科学省の指導や教科書発行者が定める「教科書発行者行動規範」等を遵守する。
- イ 外部からの不当な影響により教科書採択が左右されることなく、採択権者の判断と責任で採択できるよう、学校と情報共有するなど密接に連携し、適切に対応する。

(2) 教科書発行者との健全かつ適切な関係の保持

- ア 質の高い教科用図書とするためには、日々の授業実践を通じて得られた教員等の意見が反映されることは意義がある。また、教員等が行う授業研究や教材研究等の効果的な実施に当たっては、教科書発行者が有する知見を活用することも必要となると考えられる。しかしながら、一般の国民ないし地域住民から教科書採択の公正性・透明性に疑念を生じさせる行為と受け止められることがないよう、教科書発行者との健全かつ適切な関係を保持する。
- イ 校長、教員をはじめ採択関係者は、教科書発行者に対し、教科書採択の勧誘を目的として又はその目的であるとの疑念を生じさせるおそれがある形での金銭その他の利益の供与又はその申出は絶対に行わない。
- ウ 教科書発行者の行為の内容又はそれに対する教員等の関与もしくは荷担の内容・程度によっては、地方公務員法第32条、第33条又は第38条の規定に違反することになり得る。

(3) 教科書見本の取扱い

- ア 教科書見本の送付は、教科書採択の勧誘を目的としていると認識し、教科書発行者と健全かつ適切な関係を保つ。
- イ 教科書見本については、教科書発行者から各教育委員会に送付することができる上限を超えて求めることは厳に行わない。
- ウ 令和3年度以前に検定を受けた教科書の見本については、教科書採択にあたっての調査研究等に活用するものであることに留意し、今後の授業等に活用する目的で教科書発行者に送付を求めない。
- エ 採択期間終了後に、教科書発行者に授業研究や教材研究等のために教科書見本の送付を求めることは行わない。なお、採択期間に送付された教科書見本については、採択終了後の授業研究や教材研究に有効活用する。
- オ 共同採択地区において、教科書見本の部数が過多となり、教科書発行者に引き取りを求める場合には、特定の教科書発行者のみに引き取りを求めない。
- カ 教科書見本と併せて、又は個別に、デジタル教科書の部分サンプルや内容解説資料その他教科書発行者が広く無償で配布する資料を受け取ることは差し支えない。ただし、資料の名称を問わず、有償の商品やサービスを無償又は廉価に提供を受けるなど教科書発行者からの不当な利益供与が禁止されていることに注意する。

(4) 過大な宣伝活動等への対処

- ア 宣伝活動等の加熱を防止するため、採択期間においては、教科書発行者が新たに採択される教科書に関する説明会、講習会又は研修会等の主催や開催の関与を行うことが禁止されていることを理解し、適切に対応する。
- イ 採択権者は、採択事務説明会などの機会を活用し、発行者の宣伝活動の実態を把握する。また、採択事務に支障を来す事態が発生した場合や不当な働きかけがあった場合においては、警察など関係機関と連携しながら、毅然とした対応を取る。

(5) 検定申請本の取扱い

検定申請本は、検定の行政処分を行う際の対象であり、教科書発行者が教科書採択を勧誘するための宣伝活動（実質的にそれと同視され得る活動を含む）に使用することは一切認められていないことをすべての採択関係者及び校長、教員に周知徹底する。

6 その他

- (1) 教科用図書の採択にあたっての具体的な手続きについては、「兵庫県採択事務取扱要領」に基づいて行う。
- (2) 教科書展示会場は、一般県民も閲覧することから可能な限り県民が参会しやすい施設とすること。

令和5年度使用明石市立小学校教科用図書一覧

種目	発行者	教科書名
	略称	
国語	東京書籍	新しい国語
書写	教育出版	小学書写
社会	東京書籍	新しい社会
地図	帝国書院	楽しく学ぶ 小学生の地図帳 3・4・5・6年
算数	啓林館	わくわく算数
理科	啓林館	わくわく理科
生活	啓林館	わくわくせいかつ・いきいきせいかつ
音楽	教育出版	小学音楽 音楽のおくりもの
図画工作	日本文教出版	図画工作
家庭	開隆堂	小学校 わたしたちの家庭科
保健	東京書籍	新編 新しい保健
外国語	東京書籍	New Horizon Elementary English Course 5・6 Picture Dictionary
特別の教科 道徳	教育出版	小学道徳 はばたこう明日へ

令和5年度使用明石市立中学校教科用図書一覧

種目	発行者	教科書名
	略称	
国語	東京書籍	新しい国語
書写	光村図書	中学書写
社会(地理的分野)	帝国書院	社会科 中学生の地理
社会(歴史的分野)	帝国書院	社会科 中学生の歴史
社会(公民的分野)	東京書籍	新しい社会 公民
社会(地図)	帝国書院	中学校社会科地図
数学	啓林館	未来へひろがる数学
理科	啓林館	未来へひろがるサイエンス
音楽(一般)	教育出版	中学音楽
音楽(器楽合奏)	教育出版	中学器楽
美術	開隆堂	美術
保健体育	東京書籍	新しい保健体育
技術・家庭(技術分野)	東京書籍	新しい技術・家庭 技術分野
技術・家庭(家庭分野)	開隆堂	家庭分野 生活の土台
外国語(英語)	東京書籍	NEW HORIZON English Course
特別の教科 道徳	日本文教出版	中学道徳 あすを生きる

2023年度（令和5年）教科書展示会

（実施期間：2023年6月14日～7月3日実施・土曜日、日曜日除く）

1 閲覧人数 名（一般：17人 学校関係者：1人 行政関係者：39人）

2 意見等（来会者のアンケートより）

年齢・職業等	意見内容(原文ママ)
40代 会社員	主に外国語科の教科書を中心に拝見しました。今年度までの内容を継続される教科書、ガラッと変えてきた教科書等、各社様々な考えが見えました。弊社は明石市の外国語教育に関わらせていただいておりますが、どの教科書を採択されるか、楽しみにしております。ありがとうございます。
40代 会社員	小学校の新しい教科書を見に来ました。時代の変化を感じています。とても見やすく展示してありました。ありがとうございます。
40代 自営業	我が子が学ぶ教科書への関心がなかったが、いろんな教科書があり面白かった。書写の本がどれもお手本ばかりで、もっと「こんな字が書きたい！」と思わせるような作品をのせても良いと思った。
40代 無職	とてもカラフルで勉強が楽しくなりそうな内容でした。
40代 公務員	人権的な視点で保健や道徳の教科書を拝見しました。性の多様性、プライベートゾーン、権利等の記載が以前より多くなっている気がして、少しホッとしました。
50代 公務員	色いろな出版書の教科書が教科ごとに並んでいて見やすいと感じました。もう少しゆっくり時間をとって様々な教科を見比べたいと思いました。
70歳以上 無職	たまたま市民センター出かけて来て、良い資材拝見、又寄せてもらいたいです。息子にも孫にも良いチャンス見せてみたいです。

令和6年度使用
明石市立小学校教科用図書
調査研究報告書に基づく資料

8月7日（月）

令和5年度教科用図書明石地区選定委員会

会長 筒井 茂喜

目次

1	国語	・ ・ ・ ・ ・	P.1~P.3
2	書写	・ ・ ・ ・ ・	P.4,5
3	算数	・ ・ ・ ・ ・	P.6~P.9
4	理科	・ ・ ・ ・ ・	P.10,11
5	生活	・ ・ ・ ・ ・	P.12~P.14
6	音楽	・ ・ ・ ・ ・	P.15
7	英語	・ ・ ・ ・ ・	P.16~P.19

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【国語】

調査研究観点	発行者：(東京書籍)	調査研究内容	発行者：(教育出版)	調査研究内容	発行者：(光村図書)	調査研究内容
<p>資質・能力の育成に 向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱 知識及び技能 思考力、判断力、 表現力等 学びにむかう力、 人間性等 	<p>・2年生以上には、「情報のとびら」という小教材が系統的に設定され、情報に関する知識技能の定着を図れるようになっている。(6年P.60, 61)</p> <p>・「情報のとびら」では、「読むこと(説明文)」での学びを、精しく「書くこと」の学習に効果的に結び付け、「言葉の力」の習得と活用を促している。(2年上P.74)</p> <p>・2年生以上の説明的文章の学習では、タイプの異なる二つ以上の資料等を読みくらべたり、読み重ねたりする単元を設定している。(3年上P.94, 95)</p> <p>・学習用語が適宜、示されており、児童自身も何を学んでいるのか意識しやすくなっている。例：文学の場合(特・場所・人物等)(2年上P.70)</p> <p>・入門期に、短いオノマトペを続けて使い、言葉の面白さを味わえるようになっている。(1年P.1 P.24 P.38)</p> <p>・特殊音節が記号だけでなく動作化を促すための絵があり、構造の理解を助ける。1年上P.58)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」の学習では、セリフが多く示され、真似しやすいうように工夫している。(4年上P.127)</p> <p>・教材での学びをインタビュー記事と関連させて考える学習展開となった学び、学びを深めることができるようになっている。(5年P.157)</p> <p>・文法や語彙に特化した「言葉相談室」を設けることで、思考力を下支えする言葉の学びを保障している。(4年上P.102)</p> <p>・2年生から類を示して図書館の使い方を示している。(2年上P.26)</p>	<p>・説明的文章教材を学習する際には、練習教材と本教材とがセットになっており学習しやすくなっている。(5年上P.43)</p> <p>・1年生段階の説明的文章教材であっても、構成がしっかりとした「典型的な説明文」を設定している。(1年上P.90)</p> <p>・高学年の「話すこと・聞くこと」の学習で児童が考えたアイデアや提案を実行に移せるように、書くことの学習とセットにしている。(5年上P.58)</p> <p>・入門期の早い時期に自分の名前を書かせることから始めている。(1年上P.7)</p> <p>・入門期の書くことを多く取り入れている。(P.14~P.27)</p> <p>・入門期から比較的長いお話を収め、読み聞かせによって音節と出合えるよう工夫している。(1年上P.28)</p> <p>・新出漢字に書き順を示している。(2年上P.18)</p> <p>・「言葉の種類やそらじ」により、その作品で出てきた表現を使えるよう工夫している。(6年下P.60)</p> <p>・「ここが大事」の内容が詳しく詳ししている。(6年下P.85)</p> <p>・日常生活や学校生活に関連した題材を設定し、児童の生活に結びついた活動になるようになっている。また、目的意識や必然性・必要性を重視した教材を設定し、児童の学習意欲が持続するようになっている。(4年上P.54, 4年下P.104)</p> <p>・図書館での具体的な場面を子どもの視点で示し、使い方を説明している。(2年上P.58)</p> <p>・日常の言語生活から題材を取り上げること、児童が学習活動を通して、言語的な知識を深められるよう工夫している。(4年上P.124)</p>	<p>・QRコードにアクセスすることで、作品の作者や筆者の資料を調べることができるようになっている。(3年上P.27)</p> <p>・ウェブサイトを連動した「まなびリンク」から充実した情報を取り出し、学びを広げたり深めたりすることができるようになっている。(6年下P.109)</p> <p>・発達段階に応じたタブレットP.C等を効果的に活用できる学習活動を設定している。(4年下P.62)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせ柔軟な扱いが可能になるよう配慮している。(4年上P.68)</p> <p>・現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育てることができるよう専門家の授業を受け、ESD・SDGsに取り組みながら工夫している。(2年上P.42, 2年下P.70)</p> <p>・取材などタブレット端末等を効果的に活用できるような学習活動を設定している。(3年上P.102)</p>	<p>・「話すこと・聞くこと」の学習では、セリフが多く示され、真似しやすいうように工夫している。また、うまくいかない場面の例も示されており、児童が試行錯誤しながら学べるように工夫している。(3年下P.41)</p> <p>・入門期に抵抗がないように、7ページまで文字を使わず、児童の想像を引出している。(1年上P.2~P.7)</p> <p>・入門期の各ページの言語活動を促すタイトルが、教師の発問ではなく児童側の主体的な発言を表すことにより、思考を誘う工夫をしている。(1年上P.9~P.20)</p> <p>・紙面を上下に分け、上段に学習の流れ、下段にそれを支える活動の具休や全学年の復習内容が明記されていることで児童がより円滑しやすくなっている。</p> <p>・説明的文章を学習する際には、練習教材と本教材とがセットになる情報に関する項目も示している。(4年上P.53)</p> <p>・巻末付録に思考や表現の助けになる語彙を「伝え合うための言葉」「言葉のたから箱」として提示するとともに国語学習でよく使われる言葉を学習に用いる言葉として整理している。(4年下P.171)</p> <p>・年間か所読書単元を設けている。日常的な図書館利用を促し、読みたい本を見つけて方法や知りた本、必要な本を探る方法を身に付けるとともに読みたい本、必要な本を探る力を養っている。(6年P.41)</p> <p>・説明的文章教材とは別に「季節の言葉」を中学年以上の学年に設け、四季に応じた生活に密着した伝統的言語文化を学ぶことができるようになっている。(4年下P.90)</p> <p>・「本はともたち」を設けて、発達段階に応じ、スモールステップを設定して図書館の使い方を説明している。(2年上P.33)</p>	<p>・文学的教材の一部は、QRコードを読み取ることでデジタル紙芝居のような感じで朗読を聞くことができるようになっている。(1年下P.6)</p> <p>・教科書の中でQRコードが示された箇所には発表や話し合いなどの動画資料、作家・筆者へのインタビューなど児童の興味関心を高めたり、学習を深めたりすることができる資料を豊富に収めている。(6年P.37, 3年下P.116)</p> <p>・QRコードから活動の実写動画を視聴できるようにすること、紙面だけでは伝わりにくい、話す速さや間の取り方などがわかるよう工夫している。(5年P.222)</p> <p>・実際の学習活動の様子や「糸車」「木魚」など児童なじみのない物について類比的な資料をQRコードにより準備している。(1年下P.41)</p> <p>・社会科での学びを、学年を超えて復習できるようにしている。都道府県の旅(4年上P.50 P.100)</p> <p>・神戸で発行されている新聞を教材として扱っている。(5年P.109)</p> <p>・掲載されている作品の完成形をQRコードから読み取り見ることができるようになっている。(3年上P.101)</p>	
<p>新しい時代に対応した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ICTを活用した学習 活動 他教科との連携 地域を活かした教材(明石市) 	<p>・説明的文章学習の冒頭では、その教材に関連する動画などにアクセスできるQRコードがついている。(5年P.216)</p> <p>・QRコードを読み取ることで、漢字だけでなく言葉の練習問題に取り組みやすくなるよう工夫している。(5年P.43)</p> <p>・兵庫県教材がある。神戸市の医療用ロボット(5年P.216)</p> <p>・手塚治虫の幼少期、宝塚市(5年P.249)</p> <p>・3年生以上には、教科書の冒頭に「デジタルノートの作り方」が掲載されており、一人一台端末を活用したノートの指導も行えるようになっている。(3年上P.12, 13)</p> <p>・「言葉の力」では、国語で学んだ力を他教科で生かす具体的な場面を例示している。(4年上P.37)</p> <p>・情報化社会に不可欠な「情報」を使う力については列記を工夫し、確実な獲得を目指している。(6年P.167~P.169)</p> <p>・思考を整理したり、深めたりするツールとしてノートを活用している。紙のノートを基礎としてデジタル端末を活用して思考するノートも示している。(4年上P.10~P.13)</p> <p>・当該単元で身に付けた記事の書き手の意図を感心的に例示しづらくなりなど、他教科の学習場面や生活場面を具体的に例示している。(5年P.102)</p>	<p>・QRコードにアクセスすることで、作品の作者や筆者の資料を調べることができるようになっている。(3年上P.27)</p> <p>・ウェブサイトを連動した「まなびリンク」から充実した情報を取り出し、学びを広げたり深めたりすることができるようになっている。(6年下P.109)</p> <p>・発達段階に応じたタブレットP.C等を効果的に活用できる学習活動を設定している。(4年下P.62)</p> <p>・「話すこと・聞くこと」教材を中心に、他教科の学習に合わせ柔軟な扱いが可能になるよう配慮している。(4年上P.68)</p> <p>・現代社会の問題を自らの課題と考えられる児童を育てることができるよう専門家の授業を受け、ESD・SDGsに取り組みながら工夫している。(2年上P.42, 2年下P.70)</p> <p>・取材などタブレット端末等を効果的に活用できるような学習活動を設定している。(3年上P.102)</p>	<p>・文学的教材の一部は、QRコードを読み取ることでデジタル紙芝居のような感じで朗読を聞くことができるようになっている。(1年下P.6)</p> <p>・教科書の中でQRコードが示された箇所には発表や話し合いなどの動画資料、作家・筆者へのインタビューなど児童の興味関心を高めたり、学習を深めたりすることができる資料を豊富に収めている。(6年P.37, 3年下P.116)</p> <p>・QRコードから活動の実写動画を視聴できるようにすること、紙面だけでは伝わりにくい、話す速さや間の取り方などがわかるよう工夫している。(5年P.222)</p> <p>・実際の学習活動の様子や「糸車」「木魚」など児童なじみのない物について類比的な資料をQRコードにより準備している。(1年下P.41)</p> <p>・社会科での学びを、学年を超えて復習できるようにしている。都道府県の旅(4年上P.50 P.100)</p> <p>・神戸で発行されている新聞を教材として扱っている。(5年P.109)</p> <p>・掲載されている作品の完成形をQRコードから読み取り見ることができるようになっている。(3年上P.101)</p>			

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【国語】

調査研究観点	発行元：(東京書籍)	調査研究内容	調査委員会	発行元：(教育出版)	調査研究内容	調査委員会	発行元：(光村図書)
<p>主体的な学びの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見直し・振り返り ・問題解決的な学習 ・課題発見ができるような工夫 	<p>発行元：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2年生以上の各学習の導入段階には、見開き1頁で興味関心を誘うような問いかけがあり、学習の見直しをもって教材と出合えるように工夫している。(2年上P.14、15) ・手びきの部分も見開き1頁で見直し、取り組む、ふり返るという学習活動の具体がイメージできるようにしており、児童が自力で読めを進められるようになっている。(2年上P.22、23) ・2年生以上は、教科書の冒頭部に「国語のノートづくりかた」が示されている。児童に入る前段階でノート指導もできるようにしている。児童が何をどのように学ぶのかが分りやすくなっている。(2年上P.10、11) ・各単元で身に付けたい「言葉の力」を明示し、児童が主体的に学ぼうとする意欲をもてるようになっている。その単元で身に付けた力を学習過程の核に位置付け、図解・イラストともに明示している。(6年上P.188) ・「取り組む」では、問いかけの形で学習過程が示されており、答えを叙述に求めながら学習が進められるようになっている。(6年上P.198) ・「国語の学習の進め方」を示し、学習をどのように進めていくかを指導できるようにしている。主体的に学習に取り組む態度を育てるよう工夫している。(2年上P.8) ・思考・判断を促す問いや「言葉の力」に関わる問いを設け、児童が常に課題意識をもちながら主体的に考えることができるようになっている。(4年上P.76) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の見直しをもって学習に臨めるように、見開き1頁で学習の流れを示している。(6年上P.88、89) ・学習活動として4ステップの学習内容が示され、下段には思考ツールや図解、子どもたちの反応例などを示している。(3年下P.121) ・「ことばあそびを入門期で扱い、言葉への興味をもたせやすくしている。(1年上P.36) ・「書く」では、テーマを多く例示し、学びが止まらないように工夫している。(5年下P.81) ・学習のめあてと振り返りを照応させることで学習の大きな流れがつかめるようになっている。(6年下P.26) ・語活動を運じて学ぶのかを明示している。(6年下P.26) ・「学習の手引き」を示して、学習活動の大まかな流れがつかめるようにするとともに、めあての下にどのような学習活動を進めるよう工夫を示すことで、学習の見直しをもって文章を読めるようになる。(3年下P.120) ・学習したことが家庭生活のどのような場面で役立つのかを「1つあることば」の項で示している。(4年上P.4) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの領域の学習においても、自分の考えを互いに伝え合ったり、聞き合ったりする言語活動を示している。(4年下P.27) ・高学年の話すこと・聞くことの学習では、ディベートやパネルディスカッション、哲学対話なども体験できるように配列している。(6年上P.52) ・どの単元でも「伝え合おう」を設定している。(6年上P.89) ・その教材における重点指導事項に該当する学習ステップが強調して示されており、子どもが学びの重点を意識しながら活動を進められることができるようになっている。(5年上P.58) ・「言語活動の具体的な場をイラストや図版で分りやすく示している。子どもたちはどのステップでどのような活動すればいいのかが分り、楽しみながら学習を進めることができるようになっている。(4年上P.58、下P.94) ・児童の身の回りにある課題に、友だちとともに向き合う教材を設定することで、他者と協働できるよう工夫している。(6年上P.58) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習においても、児童が課題意識をもって取り組めるように、手びきの冒頭に「問いをもと」を設定し、単元の目標と手びきの内容が見開き1頁で示され、学習活動の具体がイメージできるようにしている。(4年上P.62、63) ・作者へのインタビュー動画を視聴することにより、作品単元を学習するだけでなく作者の存在を認識して学びを深めることができるようになっている。(3年下P.27) ・「たいせつ」のまともので、振り返りを書く場面や他教科での表裏活動に国語での学びを生かすことができるようになっている。(5年上P.252) ・主体的対話的で深い学びをどう進めていくかを視覚的に示した「どうやって学ぶ」のなかなど領域別に学習内容を整理して「6年生で学ぶこと」「5年生で学ぶこと」で構成している。6年上P.12) ・学年末に、その学年をふり返って、楽しかったことやがんばったこと、できるよくなったことを確かめる場を設けている。自らの成長を実感することで次の学年の国語学習への意欲とともに、学んだことを国語以外の学習や日常生活にいかす意識を持たせ、国語を学ぶ意義を自分なりに考えることが期待できるようにしている。(2年下P.136) ・単元冒頭の期待感を高めながら、意欲的に学習活動に取り組めるよう工夫している。(3年下P.121)
<p>協働的な学びの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を充実させるための工夫 ・他者と協働できる工夫 	<p>発行元：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの領域の学習においても、自分の考えを互いに伝え合ったり、聞き合ったりする言語活動を示している。(4年下P.27) ・高学年の話すこと・聞くことの学習では、ディベートやパネルディスカッション、哲学対話なども体験できるように配列している。(6年上P.52) ・どの単元でも「伝え合おう」を設定している。(6年上P.89) ・その教材における重点指導事項に該当する学習ステップが強調して示されており、子どもが学びの重点を意識しながら活動を進められることができるようになっている。(5年上P.58) ・「言語活動の具体的な場をイラストや図版で分りやすく示している。子どもたちはどのステップでどのような活動すればいいのかが分り、楽しみながら学習を進めることができるようになっている。(4年上P.58、下P.94) ・児童の身の回りにある課題に、友だちとともに向き合う教材を設定することで、他者と協働できるよう工夫している。(6年上P.58) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの領域の学習においても、自分の考えを互いに伝え合ったり、聞き合ったりする言語活動を示している。(2年上P.31) ・「話す・聞く」の領域では、各学年の身近なテーマを扱っているため、児童同士が交流しやすくなっている。(5年上P.136) ・書いた文章を読み合う際には、相互評価の観点で明示されており、活動が明確になっている。(3年上P.102) ・学年初めの緊張する心と体を解きほぐす教材を配列し、対話を通してみんなが学ぶ楽しさを味わうことができるようになっている。(3年上P.14) ・「苦学」意識を持たせないように、学年初めに「楽しく書こう」を新設し、書くことを通じて友だちとつながり、自己肯定感を持って学習に取り組んでいる。(3年上P.18) ・子どもたちの発達段階、習熟度、必然性を考慮して、多彩な文種・言語活動を系統的にバランスよく配列している。また、学習機会には年間8回程度の手紙、報告書、紹介、物語創作などの学習に重点を取り組めるよう工夫している。情報の使い方に関する特設教材「ようほう」と合わせて、論理的に書く力を育てるようになっている。(3年上P.65) ・協働的な学びの基礎・基本である話し合いについて、児童の気づきや想像から言葉が生まれるとともに、友だちとの対話によってストーリーラインが膨らんでいくよう工夫している。(1年上P.1) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年の最初に友だちとの対話を通じて考えを広げたり、深めたりする活動を位置付けている。(4年上P.14、15) ・場面のつながりを考えながら活動ではイラストをしながら友だちと相談したり、協力したりして言語活動等に取り組むことができるようになっている。(2年上P.139) ・協働的な学びの基礎・基本である話し合いについて、エラーモデル(動画)を示すことで、児童に新たな視点をもたせるとともに、学習のねらいがより明らかになるよう工夫している。(3年上P.120) ・文学の習得段階でつまづきやすい特殊音節や助詞について、動作化したイラストを用いて視覚化したことで、学習内容を理解しやすいう工夫している。(1年上P.44、P.56) ・友だちとの学び合いや考えの共有など対話的な学びの場を多く設定し、協働的な学びにつながるよう工夫している。(1年上P.75) 	<p>調査委員会</p>	<p>発行元：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの領域の学習においても、自分の考えを互いに伝え合ったり、聞き合ったりする言語活動を示している。(2年上P.31) ・「話す・聞く」の領域では、各学年の身近なテーマを扱っているため、児童同士が交流しやすくなっている。(5年上P.136) ・書いた文章を読み合う際には、相互評価の観点で明示されており、活動が明確になっている。(3年上P.102) ・学年初めの緊張する心と体を解きほぐす教材を配列し、対話を通してみんなが学ぶ楽しさを味わうことができるようになっている。(3年上P.14) ・「苦学」意識を持たせないように、学年初めに「楽しく書こう」を新設し、書くことを通じて友だちとつながり、自己肯定感を持って学習に取り組んでいる。(3年上P.18) ・子どもたちの発達段階、習熟度、必然性を考慮して、多彩な文種・言語活動を系統的にバランスよく配列している。また、学習機会には年間8回程度の手紙、報告書、紹介、物語創作などの学習に重点を取り組めるよう工夫している。情報の使い方に関する特設教材「ようほう」と合わせて、論理的に書く力を育てるようになっている。(3年上P.65) ・協働的な学びの基礎・基本である話し合いについて、児童の気づきや想像から言葉が生まれるとともに、友だちとの対話によってストーリーラインが膨らんでいくよう工夫している。(1年上P.1)

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【国語】

調査研究観点	発行者：（東京書籍） 調査研究内容	調査結果	発行者：（教育出版） 調査研究内容	調査結果	発行者：（光村図書） 調査研究内容
<p>人権に配慮した工夫 ・ユニバーサルデザイン ・表記、表現…字体、文字 ・配列…写真、挿絵 ・記号のわかりやすさ</p>	<p>・ジェンダー平等など人々の多様性に配慮している。児童の服装にも配慮している。(1年上P.1) ・母音の口形写真が他社よりも分かりやすくしている。特に「う」と「お」(1年上P.18,19) ・硬筆指導も五感で感じながら行えるようになっている。(1年上P.10,11) ・写真と線をうまく組み合わせさせてイメージをもちやすくなっている。(1年上P.32, 33) ・色覚の多様性に配慮し、カラーユニバーサルデザインの観点から配色およびデザインについて全ページに渡って専門家の検証を行っている。特に読みやすさを意識して1・2年生では少し太めの書体を使用している。(1年P.108) ・文字の習得において特につまづきやすい特殊音節(促音、草音、拗音)の学習では視覚化と動作化を取り入れ、音と文字の関係性を体感的に捉えられるように工夫している。(1年上P.58,59) ・左利きの児童のための鉛筆の持ち方を示している。(1年上P.10) ・挿絵は縦書き文章に応じた向きになるよう配慮している。(1年上P.83)</p>	○	<p>・ジェンダー平等など人々の多様性に配慮している。児童の服装にも配慮している。車椅子に乗っている児童も描かれている。(1年上P.4) ・児童が声の動物や声の大きさを実感しやすいように、文字の大小にも工夫している。(1年上P.28) ・読む一歩、書く一歩のように各領域ごとにページ端が色分けされているので、何を学ぶのが判断しやすくなっている。前教材とのつながりを調べる向きにも有効になっている。(6年下P.86) ・色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいうように配慮したり、色による指示を含んだ疑問や色に基づく活動を選んだりして、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーUDにも配慮している。(1年P.72) ・色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいうように配慮したり、色による指示を含んだ疑問や色に基づく活動を選んだりしている。(5年上P.126)</p>	○	<p>・ジェンダー平等など人々の多様性に配慮している。児童の服装にも配慮している。車椅子に乗っている児童も描かれている。(1年上P.8) ・個々の人権について児童に考えさせる教材がある。(6年P.256) ・低学年では、太く見やすい字を使用している。(1年上P.30) ・はっきりした色使い、CUDを意識された配色の紙面・挿絵になっている。(3年下P.97) ・読む、書く、話す、聞くの記号が分かりやすくなっている。また、問いを待とう・目標・ふりかえりが親しみやすく、どの児童も頻りに理解しやすくなっている。(4年下P.2) ・図章は、色だけでなく記号や実線、点線を使い分けることで、色覚特性のある子どもにも判別しやすいよう工夫している。(6年P.74) ・挿絵は縦書き文章に応じた向きになっている。(1年上P.66)</p>
(5)					
<p>教材の取扱いの工夫 ・配列、分量等</p>	<p>・説明的文章の学習においては、年間を通してスモールステップで学べるように教材が配列されており、学年間の系統も捉えやすくなっている。(4年上P.42P.90 4年下P.8P.78) ・話すこと・聞くこと等の学習においても、年間を通してスモールステップで学べるように教材を配列しており、学年間の系統も捉えやすくなっている。(4年上P.34P.124 4年下P.30P.100) ・どの学年においても、同じパターンで教材を配列しているため、学年が変わっても学習の共通性をもちやすくなっている。(6年P.2) ・「思い出そう」により、領域ごとの学年のつながりに配慮するとともに領域相互の関連にも配慮している。(4年下P.36) ・3年生4年生では二つの文章や広告を読み比べて「書き手の工夫や表し方の工夫を読み取る」領域を同じ時期に位置付けようとしている。(3年上P.90 4年上P.90) ・5年生6年生では「情報を関連付ける」領域を同じ時期に位置付けようとしている。(5年P.168 6年P.166) ・入門期において、書く領域の教材が多くなっている。(1年上P.78)</p>	○	<p>・3年以上以上の置詞「学ば」がことリストには、各教材がSDGsのどの目標と関連が深いのかを示している。(3年上P.4) ・全学年を上下巻で構成しているので一冊当たりの分量が軽く身体への負担が少なくなっている。(全学年) ・文型や語彙や学習用語などの汎用的な知識は巻末に一覧で示し、他の学習場面でも生かせるようにしている。(3年上P.150 P.40 P.148 P.102)</p>		<p>・戦争に関する教材が多く、(3年～5年の3つ)。6年生では、世界平和を考える教材がある。(6年P.210) ・非連続型テキストや新聞、パンフレットなど様々なタイプのテキストに触れられるように、「生活の中で読む」という小單元を設定している。(6年P.104) ・文学的な文章は長く掲載されている名作に加え、現代的なテーマをもつ書きおろしや作品など、今読む価値のある作品を配置している。説明的な文章は、現代社会を生きる子どもたちにもふさわしい題材を選び、論理的思考のモデルとなる文章を位置付けている。(4年下P.99) ・日本由来の花を題材にするなど、和文文化に親しめるように工夫している。(1年上P.54) ・「本の世界を広げよう」では、SDGsの達成に向けてとして発達段階に応じた図章を紹介している。(3年上P.146) ・児童の感性を豊かにする詩教材が多くなっている。(5年P.192)</p>
(6)					

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

令和6年度使用石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【書写】

調査研究観点	発行番：(東京書籍)	調査研究内容	発行番：(教育出版)	調査研究内容	発行番：(光村図書)	調査研究内容
<p>調査研究観点</p> <p>1. 読解・能力の育成に向けた工夫</p> <p>2. 3つの柱</p> <p>3. 知識及び技能</p> <p>4. 思考力、判断力、表現力等</p> <p>5. 学びにむかう力、人間性等</p>	<p>発行番：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・文字の形等、比較して考えさせる構成となっている。(6年P.10 2年P.18)</p> <p>・まず課題の部分を練習してから、字全体を練習していくなど、ステップアップで書く力をつけるようにしている。(1年P.13 2年P.24)</p> <p>・動物の動きと共に擬音語・擬態語の記載があり、とめ、はね、はらいの筆使いを意識して書くことができる。(1年P.8.9)</p> <p>・練習する量が適切で、確実に定着を図るようになっている。(1年P.10 2年P.17)</p> <p>・点画のつながりや、筆の動きを点線でつなぎを示していることで、筆と向きを意識しやすくなる。(5年P.12 P.16 P.27)</p> <p>・日常生活と書写のつながりやが実感できる教材を設定している。(1年P.1 2年P.15)</p>	<p>発行番：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・種々の向きや送筆が分かりやすくなっている。色をつけることと筆の運びを同時に練習できるようにしている。(1年P.12 2年P.12)</p> <p>・練習部分になぞり書きが多く、課題を意識して字形を整えて書くことができるようになっている。(1年P.12 2年P.12)</p> <p>・書き方の原理・原則を基本的な形で練習してから、同じ原則で書ける文字で応用するなど、定着が図れるようになっている。(1年P.20 2年P.34)</p> <p>・イラストと共に擬音語・擬態語の記載があり、送筆のリズムを体感的に捉えることができる。(1年P.10 2年P.12)</p> <p>・各教材文字に対して「ここが大切のマーク、原案に比べてわかりやすい、簡単な言葉で、筆使いのポイントが説明している。(3年P.20)</p> <p>・全ての教材文字に筆先の動きを赤書きで示し、筆の動きが異なるため、練習で真似ができるようになっている。(5年P.13 P.28)</p> <p>・点画の接する位置も、色が分かれていて分かりやすい。(5年P.17)</p> <p>・点画の種類…これが分かれると練習しやすくなる。(1年P.5)</p> <p>・硬筆での手紙の書き方を例にあげ、文字の大きさや行のそろえ方など、気を付けるところや封筒の書き方が学習できるようにしている。(3年P.33～P.35)</p> <p>・家庭では、行書を紹介して中学での学習意欲につなげている。(6年P.44)</p> <p>・日常生活と書写のつながりやが実感できる教材を多く設定している。(1年P.1 2年P.35)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・どのように書いてよいか考えさせたり、どちらがいろいろ比較させたりする等、思考させるための手立てが多くある。</p> <p>・課題の部分で練習してから、字全体を練習していくなど、ステップアップで書く力をつけるようにしている。(1年P.12 2年P.26)</p> <p>・イラストと共に擬音語・擬態語の記載があり、送筆のリズムや筆使いを体感的に捉えることができる。(1年P.10 2年P.10)</p> <p>・教材文字を書くポイントが書き込み形式になっていて、意識づけがしやすい。(4年P.8)</p> <p>・各教材の最後にある「ここが大切のマーク」によって、整った文字を書くためのポイントが強調しやすくなる。(2年P.8)</p> <p>・点画をまとめたページがあり、学習するページも示され、点画の種類が分かるように練習しやすくなる。(3年P.14.15 4年P.6.7)</p> <p>・書き順の学習で、字を書く流れを毛筆で示し、硬筆で練習するようになっている分りやすい。(2年P.8.9)</p> <p>・1年巻頭に「しよしよ」など、3年巻頭に「毛筆スタートブック」を設け、入門期に着実にスタートできるように配慮している。(1年P.3 2年P.21)</p> <p>・硬筆での手紙の書き方を例にあげ、文字の大きさ(漢字と平仮名や異出しと文字など)、行のそろえ方など、気を付けることを分りやすく学習できる。他の教材でも生かせるようになっている。(3年P.24.25)</p> <p>・日常生活と書写のつながりやが実感できる教材が多量に設定されている。(1年P.3 2年P.21)</p> <p>・6年生では、6年間の学習を振り返り、日常生活に広げていくように示した「書写ブック」を付録している。</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・QRコードからインターネットを通じてアニメーションや動画で資料を見ることが出来る。(1年P.2 2年P.17)</p> <p>・他教科と連携し、他教科の学びに活かすようになっている。(1年P.23 2年P.26)</p> <p>・年賀状やお礼の手紙など、実生活で活用できる学習が多くあり、他教科の行事などとも関係づけ活用できるようにしている。(5年P.34 36.37 P.42.43)</p> <p>・お願いの手紙(6年P.38)、校外学習のリーフレット(6年P.17)は、他教科でも使えるようになっている。</p> <p>・世界各国の書文字を示すなど、外国語に親しむ工夫がある。(5年P.53)</p> <p>・学習のまとめとして「卒業制作」があり、国語や図工、他教科と関係づけられるようになっている。(6年P.40)</p> <p>・文字の世界「さまままかるた」では、「兵庫のふるさとかるた」が写真で紹介され、明石海峡大橋のかるたを大きく掲載している。(4年P.40)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・QRコードからインターネットを通じてアニメーションや動画で資料を見ることが出来る。(1年P.2 2年P.17)</p> <p>・タブレットで取り扱った体をほぐすための「書写体操」が紹介されている。(3年P.11)</p> <p>・他教科との関連教材「書写を広げたい」を豊富に位置づけ、横断的な学習の充実の工夫がある。(4年P.20)</p> <p>・SDGsの達成に向けて、書写でできる活動をSDGsブックとしてまとめている。町の防災マップを作ったり、自分や社会を結び付けて日常に生かす工夫がある。(4年P.21)</p> <p>・文字の歴史(6年P.29～)では、今使われている文字はいっしょに書かれたことが分り、国語とつながっている。(4年P.21)</p> <p>・1年生に「お家の人からの応援メッセージ」欄を設けたり、家庭との連絡が図れやすくなるよう配慮している。(1年P.1)</p> <p>・ポストカード(6年P.16)、パンフレット(6年P.32)のかき方、伝え方、使う道具も見本があり、他教科でも活用できるようにしている。</p> <p>・「書きぞめ」の写真が「兵庫県」のものになっている。(3年生P.45)</p>	
<p>(1)</p>	<p>発行番：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・新しい時代に対応した工夫</p> <p>・ICTを活用した学習活動</p> <p>・他教科との連携</p> <p>・地域を活かした教材(明石市)</p>	<p>発行番：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・QRコードからインターネットを通じてアニメーションや動画で資料を見ることが出来る。(1年P.6 2年P.12)</p> <p>・他教科と連携し、他教科の学びに活かすようになっている。(1年P.23 2年P.26)</p> <p>・年賀状やお礼の手紙など、実生活で活用できる学習が多くあり、他教科の行事などとも関係づけ活用できるようにしている。(5年P.34 36.37 P.42.43)</p> <p>・お願いの手紙(6年P.38)、校外学習のリーフレット(6年P.17)は、他教科でも使えるようになっている。</p> <p>・世界各国の書文字を示すなど、外国語に親しむ工夫がある。(5年P.53)</p> <p>・学習のまとめとして「卒業制作」があり、国語や図工、他教科と関係づけられるようになっている。(6年P.40)</p> <p>・文字の世界「さまままかるた」では、「兵庫のふるさとかるた」が写真で紹介され、明石海峡大橋のかるたを大きく掲載している。(4年P.40)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・QRコードからインターネットを通じてアニメーションや動画で資料を見ることが出来る。(1年P.2 2年P.17)</p> <p>・タブレットで取り扱った体をほぐすための「書写体操」が紹介されている。(3年P.11)</p> <p>・他教科との関連教材「書写を広げたい」を豊富に位置づけ、横断的な学習の充実の工夫がある。(4年P.20)</p> <p>・SDGsの達成に向けて、書写でできる活動をSDGsブックとしてまとめている。町の防災マップを作ったり、自分や社会を結び付けて日常に生かす工夫がある。(4年P.21)</p> <p>・文字の歴史(6年P.29～)では、今使われている文字はいっしょに書かれたことが分り、国語とつながっている。(4年P.21)</p> <p>・1年生に「お家の人からの応援メッセージ」欄を設けたり、家庭との連絡が図れやすくなるよう配慮している。(1年P.1)</p> <p>・ポストカード(6年P.16)、パンフレット(6年P.32)のかき方、伝え方、使う道具も見本があり、他教科でも活用できるようにしている。</p> <p>・「書きぞめ」の写真が「兵庫県」のものになっている。(3年生P.45)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・QRコードからインターネットを通じてアニメーションや動画で資料を見ることが出来る。(1年P.2 2年P.17)</p> <p>・タブレットで取り扱った体をほぐすための「書写体操」が紹介されている。(3年P.11)</p> <p>・他教科との関連教材「書写を広げたい」を豊富に位置づけ、横断的な学習の充実の工夫がある。(4年P.20)</p> <p>・SDGsの達成に向けて、書写でできる活動をSDGsブックとしてまとめている。町の防災マップを作ったり、自分や社会を結び付けて日常に生かす工夫がある。(4年P.21)</p> <p>・文字の歴史(6年P.29～)では、今使われている文字はいっしょに書かれたことが分り、国語とつながっている。(4年P.21)</p> <p>・1年生に「お家の人からの応援メッセージ」欄を設けたり、家庭との連絡が図れやすくなるよう配慮している。(1年P.1)</p> <p>・ポストカード(6年P.16)、パンフレット(6年P.32)のかき方、伝え方、使う道具も見本があり、他教科でも活用できるようにしている。</p> <p>・「書きぞめ」の写真が「兵庫県」のものになっている。(3年生P.45)</p>		
<p>(2)</p>	<p>発行番：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・全学年、学習の振り返りをチェックする箇所があり、自分のできたことを確かめることで、自分の成長に気付いたり、次の意欲につなげることができる。(1年P.11 6年P.10)</p> <p>・「書写のかき」をまとめたページがあり、振り返りにはよい。(5年P.10)</p> <p>・学習の流れを、「書写の学び方」として「見つけよう」で統一している。(2年P.2)</p>	<p>発行番：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・全学年、学習の振り返りをチェックする箇所があり、自分のできたことを確かめることで、自分の成長に気付いたり、次の意欲につなげることができる。(1年P.11 6年P.10)</p> <p>・「書写のかき」をまとめたページがあり、振り返りにはよい。(5年P.10)</p> <p>・学習の流れを、「書写の学び方」として「見つけよう」で統一している。(2年P.2)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・全学年、学習の振り返りをチェックする箇所があり、自分のできたことを確かめることで、自分の成長に気付いたり、次の意欲につなげることができる。(1年P.11 6年P.10)</p> <p>・「書写のかき」をまとめたページがあり、振り返りにはよい。(5年P.10)</p> <p>・学習の流れを、「書写の学び方」として「見つけよう」で統一している。(2年P.2)</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・全学年、学習の振り返りをチェックする箇所があり、自分のできたことを確かめることで、自分の成長に気付いたり、次の意欲につなげることができる。(1年P.11 6年P.10)</p> <p>・「書写のかき」をまとめたページがあり、振り返りにはよい。(5年P.10)</p> <p>・学習の流れを、「書写の学び方」として「見つけよう」で統一している。(2年P.2)</p>		
<p>(3)</p>	<p>発行番：(東京書籍)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・主体的な学びの工夫</p> <p>・異通し・振り返り</p> <p>・問題解決的な学習</p> <p>・課題発見ができるような工夫</p>	<p>発行番：(教育出版)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・主体的な学びの工夫</p> <p>・異通し・振り返り</p> <p>・問題解決的な学習</p> <p>・課題発見ができるような工夫</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・主体的な学びの工夫</p> <p>・異通し・振り返り</p> <p>・問題解決的な学習</p> <p>・課題発見ができるような工夫</p>	<p>発行番：(光村図書)</p> <p>調査研究内容</p> <p>・主体的な学びの工夫</p> <p>・異通し・振り返り</p> <p>・問題解決的な学習</p> <p>・課題発見ができるような工夫</p>		

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【書写】

発行所：(東京書籍)		発行所：(教育出版)		発行所：(光村図書)		
調査研究観点	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	
(4)	<p>協働的な学びの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 言語活動を充実するための工夫 他者と協働できる工夫 	<p>「〜を話し合おう」という問いがあり、協働的な学びができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 5年P.23 書きの字が広がるコラムの表紙「生活に広げよう」で「文字と話し合おう」の字が広がっている。 5年P.27 P.33 「分かれやすい」を話し合おう、他教科や日常生活に生かすことができるようにしている。(6年P.22) 	<p>自分の課題を解決したところが書きの言葉を認め合うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年P.19 伝え合う視点を書かれています。友だちと筆使いを見合ったり、書いた作品を評価しあったりするなど、協働的に課題解決する活動がある。(6年P.31) 友だちが選んで書いた言葉や、文字のよいところを見つけて話し合う活動を設定している。(6年P.33) 活字や手書きの文字の違いを話し合い、文字の形について知る学習を設定している。(3年P.46) 	<p>「伝えるって、どうしよう?」では、文字の大きさや配列をどのように工夫すれば情報が伝わりやすいか話し合うことで、他教科の学習や日常生活に生かすことができる。(6年P.16)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を解決したところが書きの言葉を認め合うことができる。 活動に設定され、友だちと文字の姿を認め合うことができる。(2年P.35) 「字のなぞとき」を設け、文字の原理原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体性や思考力・判断力・表現力を養うことができる。(2年P.8) 	<p>「伝えるって、どうしよう?」では、文字の大きさや配列をどのように工夫すれば情報が伝わりやすいか話し合うことで、他教科の学習や日常生活に生かすことができる。(6年P.16)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を解決したところが書きの言葉を認め合うことができる。 活動に設定され、友だちと文字の姿を認め合うことができる。(2年P.35) 「字のなぞとき」を設け、文字の原理原則を考えたり話し合ったりする活動を通して、主体性や思考力・判断力・表現力を養うことができる。(2年P.8) 	<p>○</p>
(5)	<p>人権に配慮した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ユニバーサルデザインに配慮している。(全学年) 左利きの鉛筆の持ち方を右手と同じ大きさで掲載し、左利きの児童へ配慮している。(1年P.4 2年P.6) 「ひらがなや漢字の部分ごとに色分けしているため」が目や字の形を意識して書くことができる。(1年P.16 2年P.16) 「目次には学習事項を共通の色で示し、学習することが全体のなかで確認できる。(2年P.1) 特別支援教育への配慮がある。着目しやすいように矢印で示し、レイアウトや色使いを工夫している。(1年P.38) アップの写真を掲載することで、視覚的に理解しやすい。(3年P.8) 	<p>「読みやすさを考慮した字体を使用している。(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。(全学年) 左利きの児童に配慮している。(左手で書く場合の持ち方を掲載)(1年P.6 2年P.6) 文字の形、大きさを○や□で分けて見やすくしている。(6年P.22 P.22) 用具の置き方や左利き用エドで見ることができている。(6年P.6) 字の組み立て方の学習では、色が分かれていて見やすい。(6年P.13) 目次を見ると、他の学習や生活の中での生かし方がわかるようにしている。(8年P.23) 視覚の向きを時計の針の位置で説明し、3年生にとってイメージしやすい。(3年P.14) 人権に関する「言葉」を書くことで、意識が高まる教材を掲載している。(6年P.20) 全筆教材では、朱墨を用いて、筆先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるよう工夫している。他社のものに比べて大きく見やすい。(6年P.5) 	<p>「読みやすさを考慮した字体を使用している。(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。(全学年) 左利きの児童に配慮している。(左手で書く場合の持ち方を掲載)(1年P.6 2年P.6) 文字の形、大きさを○や□で分けて見やすくしている。(6年P.22 P.22) 用具の置き方や左利き用エドで見ることができている。(6年P.6) 字の組み立て方の学習では、色が分かれていて見やすい。(6年P.13) 目次を見ると、他の学習や生活の中での生かし方がわかるようにしている。(8年P.23) 視覚の向きを時計の針の位置で説明し、3年生にとってイメージしやすい。(3年P.14) 人権に関する「言葉」を書くことで、意識が高まる教材を掲載している。(6年P.20) 全筆教材では、朱墨を用いて、筆先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるよう工夫している。他社のものに比べて大きく見やすい。(6年P.5) 	<p>「読みやすさを考慮した字体を使用している。(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。(全学年) 左利きの児童に配慮している。(左手で書く場合の持ち方を掲載)(1年P.6 2年P.6) 文字の形、大きさを○や□で分けて見やすくしている。(6年P.22 P.22) 用具の置き方や左利き用エドで見ることができている。(6年P.6) 字の組み立て方の学習では、色が分かれていて見やすい。(6年P.13) 目次を見ると、他の学習や生活の中での生かし方がわかるようにしている。(8年P.23) 視覚の向きを時計の針の位置で説明し、3年生にとってイメージしやすい。(3年P.14) 人権に関する「言葉」を書くことで、意識が高まる教材を掲載している。(6年P.20) 全筆教材では、朱墨を用いて、筆先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるよう工夫している。(6年P.5) 	<p>「読みやすさを考慮した字体を使用している。(全学年)</p> <ul style="list-style-type: none"> カラーユニバーサルデザインに配慮している。(全学年) 左利きの児童に配慮している。(左手で書く場合の持ち方を掲載)(1年P.6 2年P.6) 文字の形、大きさを○や□で分けて見やすくしている。(6年P.22 P.22) 用具の置き方や左利き用エドで見ることができている。(6年P.6) 字の組み立て方の学習では、色が分かれていて見やすい。(6年P.13) 目次を見ると、他の学習や生活の中での生かし方がわかるようにしている。(8年P.23) 視覚の向きを時計の針の位置で説明し、3年生にとってイメージしやすい。(3年P.14) 人権に関する「言葉」を書くことで、意識が高まる教材を掲載している。(6年P.20) 全筆教材では、朱墨を用いて、筆先の向きや筆圧、点画のつながりなどの筆使いが把握できるよう工夫している。(6年P.5) 	<p>○</p>
(6)	<p>教材の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> 配列、分量等 	<p>漢字の字源を取り扱っており、文字に対する興味・関心を高める工夫している。(1年P.37)</p> <ul style="list-style-type: none"> 国語の教科書と同じ順序で学習することができるようにしている。(全学年) 説明やイラストを掲載し、すっきりとしたレイアウトで見やすい。(1年P.12) 水書用筆を取り扱っており、色んな筆記用具で字を書く体験ができる。毛筆の学習へつなげている。(3年P.13) 漢字の筆順がわかりやすい。(3年P.14) 漢字のまとめ、筆バージョン、鉛筆バージョンがある。(3年P.48～P.52) B5判(横+5mm)になっている。(3年P.16) 小筆の練習ページがある。(3年P.16) 	<p>漢字の字源を取り扱っており、文字に対する興味・関心を高める工夫している。(1年P.37、2年P.30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水書用筆の使い方を詳しく取り扱っており、色んな筆記用具で字を書く体験ができる。毛筆の学習へつなげている。また、水書用筆が巻末についている。(1年P.27、2年P.27) それぞれのページに「学習の進め方」がある。(5年P.6、P.10) 協働的な学びをすすめるために「どちらがよいか考え一話し合う」で自分で書いて確かめようという流れになっている。(6年P.16、17) B5判(横+5mm)になっている。(3年P.22) 小筆で自分の名前を練習ができるようになっている。(3年P.22) 集中して学習できるように「書写体験」や「整理体験」が掲載されている。(1年P.4) 	<p>漢字の字源を取り扱っており、文字に対する興味・関心を高める工夫している。(1年P.37、2年P.30)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水書用筆の使い方を詳しく取り扱っており、色んな筆記用具で字を書く体験ができる。毛筆の学習へつなげている。また、水書用筆が巻末についている。(1年P.27、2年P.27) それぞれのページに「学習の進め方」がある。(5年P.6、P.10) 協働的な学びをすすめるために「どちらがよいか考え一話し合う」で自分で書いて確かめようという流れになっている。(6年P.16、17) B5判(横+5mm)になっている。(3年P.22) 小筆で自分の名前を練習ができるようになっている。(3年P.22) 集中して学習できるように「書写体験」や「整理体験」が掲載されている。(1年P.4) 	<p>○</p>	

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」をつける。

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【算数】

調査研究観点	発行者：（東京書籍） 調査研究内容	調査研究内容	発行者：（大日本図書） 調査研究内容	発行者：（学校図書） 調査研究内容	調査研究内容
<p>協働的な学びの工夫 ・言語活動を充実するための工夫 ・他者と協働できる工夫</p>	<p>・引き算の単元では、「計算の仕方を考えよう」と問いかけられている。(1年②P.77) ・角の大きさの表し方を調べようの学習では、鈍角の大きさを考える場面において、「今までの学習とのかいを話し合いますよ。」と問いかけている。また、自分で学習を進めていけるように学習過程の例示とともに「説明しよう」と問いかけ、言語活動を活かしようとする工夫が身がられる。(4年P.61.62) ・分数の割り算の立式の場面では、「理由を説明しよう。」と問いかけ、数直線図と言葉の式で理由を説明している。(6年P.51) ・「計算の仕方を考えて、続きを説明しよう。」という問いかけとともに、その計算に応じた「まとめ」を記載している。(6年P.55.56) ・板書例で計算過程を示し、友達と交流する際の視点を例示している。(6年P.60)</p>	<p>・引き算の単元では、前単元の復習と新しい導入問題を板書と発着者の人の考えを吹き出して提示し、「考えてみよう。」と問いかけている。また、「自分の考えを発表しよう。」と記載している。(1年②P.60.61) ・引き算の練習問題において、2人の考えの始めの部分を例示し、「考えを言いますよ」と記載している。(1年②P.85) ・角の大きさを調べようの単元の角の大きさを考える場面で、「小さい角はどのように表せばよいかを話し合いますよ。」と問いかけ、分度器を用いた角の大きさを調べるように吹き出しを用いたヒントを記載している。(4年P.57) ・角の大きさを調べようの単元の鈍角の測り方を考える場面では、「自分の考えを発表しよう。」と問いかけている。(4年P.61) ・分数の割り算の立式の場面では、「発表しよう。また、友達との考えを話し合おう。」と問いかけている。(6年P.116.117) ・「発見！考え方を発見しよう。」と問いかけて、「ひらめきアイディア」として、図で考えるなどの見方・考え方を例示している。(6年P.117) ・板書と新着者を記載し、説明しようという問いかけで、学び合いの例示を記載している。(6年P.38)</p>	<p>・読みやすいうように改訂を工夫している。(3年P.179) ・UDフォントを全面的に使用している。(5年P.93) ・色調の特性によらず情報が読み取れるよう、配色に配慮している。(6年P.170.171) ・教科書内登場キャラクターが外国にルーツをもつ原案を設定し、挿絵や写真でも海外外国にルーツをもつ人々を掲載している。(1年P.29.30.6年P.182)</p>	<p>・原案が読みやすいうように各文章で文面改訂している。(3年下P.94) ・読みやすいう理解しやすいう文字になるようにUDフォントを使用している。(5年下P.51) ・目に優しく判別しやすいようにカラーユニバーサルに配慮している。(6年P.181～P.183) ・キャラクターや活動の場面において、男女や特定のキャラクターに偏らないように配慮し、いろいろな国の人物が活動場面に登場している。(1年下P.60.6年P.111)</p>	<p>・引き算の単元では、「ペッパラワン」として、算数の見方・考え方を働かせ、数直線図を使うように促す記載がある。また、「計算の仕方を話し合おう」と問いかけている。(1年下P.20.21) ・引き算の単元では、例示された説明に対して、どんなところが似ているかなど動き、「考えの続きを話ししよう。」と発着者を促す問いかけがある。(1年下P.23) ・角の大きさの測り方や指差方を考えようの単元では、単元始めにいろいろな角の大きさを提示し、角が三角定規のいくつ分かを考えさせるための情報と吹き出しを記載し、話し合い活動の例示をしている。(4年P.49) ・各ページに「考え方をメモ」を提示し、算数の見方・考え方を働かせ、言語活動を促す記載がある。(4年下P.51) ・帯分数×整数の場面では、2つの考え方を比較して提示し、12人のよいところを発表しよう。」と問いかけている。(6年P.49) ・分数の割り算の立式の場面では、「考えよう」と問いかけ、数直線図と関係図で説明している。また、分数の割り算の計算場面では、いくつかの計算方法を示し、いろいろな計算方法を試して説明するように促している。(6年P.77.78) ・単元のふりかえりの場面では、考え方をメモを提示し、算数の見方・考え方を働かせ、算数の見方・考え方を整理し記載している。(6年各単元末ページP.253～P.256)</p>
<p>人権に配慮した工夫 ・ユニバーサルデザイン ・表記、表記…字体、文字 ・配列 …写真、挿絵 ・記号のわかりやすさ</p>	<p>・文面において文面改訂(読みやすいう改訂)を徹底しており、問題やまとめでの重要事項を囲んで強調している。(3年下P.47) ・視認性の高いUD教科書体を採用している。(5年下P.45) ・イラスト、写真、図などカラーユニバーサルデザインを配慮している。(6年P.96.97) ・性別、服装等に配慮した挿絵を採用している。(1年2P.112)</p>	<p>・1年生の総ページ数は186 指導時数の合計は119、予備時数は17 ・2年生の総ページ数は251 配当時数148、予備時数27 ・3年生の総ページ数は273 配当時数150、予備時数25 ・4年生の総ページ数は310 配当時数159、予備時数16 ・5年生の総ページ数は295 配当時数151、予備時数24 ・6年生の総ページ数は275 指導時数の合計は129、予備時数は46 ・学習的につなげることができ対象を扱う単元を学習の序盤に位置付けることで、子どもの主体的な取り組みを促している。(4年P.16)</p>	<p>・1年生の総ページ数は208 指導時数の合計は114、予備時数は22 ・2年生の総ページ数は310 配当時数139、予備時数36 ・3年生の総ページ数は319 配当時数153、予備時数22 ・4年生の総ページ数は343 配当時数159、予備時数16 ・5年生の総ページ数は358 配当時数157、予備時数18 ・6年生の総ページ数は262 指導時数の合計は190、予備時数は45 ・身近なものを使う単元を学習の序盤に位置付けることで、子どもの主体的な取り組みを促している。(2年P.20)</p>	<p>○</p>	
<p>教材の取扱いの工夫 ・配列、分量等</p>	<p>・1年生の総ページ数は174 指導時数の合計は120、予備時数は16 ・2年生の総ページ数は251 配当時数148、予備時数27 ・3年生の総ページ数は280 配当時数149、予備時数26 ・4年生の総ページ数は310 配当時数154、予備時数21 ・5年生の総ページ数は298 配当時数160、予備時数15 ・6年生の総ページ数は270 指導時数の合計は151、予備時数は24 ・練習事項の復習ページを定期的に設定し、算数の理解の促進を図っている。(1年②P.13)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【算数】

調査研究観点	発行者：(教育出版)	調査研究内容	発行者：(新興出版社 蒼林館)	調査研究内容	発行者：(日本文教出版)	調査研究内容	調査員	調査員
<p>資質・能力の育成に向けた工夫 ・3つの柱 ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・学びにむかう力、人間性等</p>	<p>数の意味や計算の方法を、「まごめアミーゴ」で表し、視覚的に理解が深められるようにしている。(1年P.115) ・「鬼子」前半での鬼方・考え方を「つながるミカタ」で明示し、後半の学習で活用しやすいようにしている。(1年P.116) ・「子」にも身近な場面を題材として取り上げることで、学習への興味や関心が高まるようにしている。(1年P.78) ・「考え」のヒントが演習設けられ、つまづきやすいポイントが意識しやすくなっている。(3年上P.56) ・「学んだこと」を「おぼえ」で活用し、問題発見・解決する数学的活動を扱っている。(3年下P.101) ・「授業開き教材」で、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ姿勢をクラスで共有できるようにしている。(3年上P.7) ・「考える」ヒントは演習設け、つまづきやすいポイントが意識しやすくなっている。(6年P.76) ・「つながるミカタ」で、鬼方・考え方を領域を超えてつなぐことができるようにしている。(6年P.184) ・「授業開き教材」で、問題解決の楽しさを味わいながら、学習の進め方や学ぶ姿勢をクラスで共有できるようにしている。(6年P.7)</p>	<p>「ふくしゅう」「じゅんび」のコーナーを多く設定しており、理解の定着を図っている。(1年P.59) ・「わか」のコーナーを多く設定しており、よりよい方法を考えたりする活動を例示しており、思考力や表現力が育めるようにしている。(1年P.60) ・「身の回り」から算数を用いる活動や活用課題を設定しており、学習したことをいかそうとする姿勢を育めるようにしている。(1年P.87) ・各単元に「じゅんび」を設定し既習事項の確認ができるようになっている。(3年上P.130,131) ・対話的な学びの中で、わかっことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を例示しており、思考力や表現力が育めるようにしている。(3年下P.99) ・「ふくしゅう」において、算数の有用性を感じ、学び続けようとする態度を育めるようにしている。(3年上P.171) ・「児童」が「つなぐ」や「つなぐ」のコーナーで、算数が確認できる「アミーゴ」や「練習問題」のQRコードを活用している。(6年P.93) ・対話的な学びの中で、わかっことを表現したり、よりよい方法を考えたりする活動を例示しており、思考力や表現力が育めるようにしている。(6年P.57) ・「わか」や「ふくしゅう」で、児童が大切だと感じたことを生かす活動を例示し、学んだことを生かそうとする態度が育まれるようになっている。(6年P.35)</p>	<p>「新しい単元に入る前の復習ページ」には、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>	<p>・新しい単元に入る前の復習ページには、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>	<p>・新しい単元に入る前の復習ページには、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>	<p>・新しい単元に入る前の復習ページには、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>	<p>・新しい単元に入る前の復習ページには、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>	<p>・新しい単元に入る前の復習ページには、練習問題が記載されており、QRコードを読み込むことで、答えを見ることができ。(1年P.77 各単元始め) ・計算の仕方を説明する場面では、QRコードを読み込むことで、タブレット内で説明ブロックを動かすことができるようにしている。(1年P.80,81) ・引き算カードを扱う場面では、QRコードを読み込むことで、引き算カードを動かすことができる。(1年P.87) ・角の大きさをかきながらの単元では、単元はじめのQRコードを読み込むことで、円と正方形を用いた、いろいろな角の大きさを調べる活動が用意されている。(4年P.66) ・角の大きさをかきながらの単元では、角を描く場面では、QRコードを読み込むことで、簡単な角の描き方の動画を観ることができ、音声なし。(4年P.73) ・分数のかけ算の立式の場面では、QRコードを読み込むことで、数直線の描き方を見ることができ。(6年P.45) ・次の学習のためにという復習ページでは、QRコードを読み込むことで、ヒントの絵や答えを見ることができ。(6年P.109)</p>
<p>新しい時代に対応した工夫 ・ICTを活用した学習活動 ・他教科との連携 ・地域を活かした教材(明石市)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>	<p>・角の単元では、QRコードを読み込むことで、角の描き方について音声付き動画を視聴することができる。(右利きだけでなく、左利きの児童向けの動画も準備している。(4年P.67) ・学習内容のまとめの場面では、QRコードを記載しており、まとめに至る過程の動画説明を見ることができ。(6年P.76) ・分度器やコンパスの使い方、垂直、平行の直線の描き方、5年生までの学習内容について、学びのマップとして整理しており、QRコードを読み込むことで、動画を視聴することができる。(6年P.272～P.287)</p>
<p>主体的な学びの工夫 ・見直し・振り返り ・問題解決的な学習 ・課題発見ができるような工夫</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>	<p>・原書の疑問からあてに「つながる」導入場面工夫を工夫している。また、習得したことを活用させ、新たな問いにつなげるように単元構成を工夫している。(2年上P.47 P.48 P.62) ・子ども自らの問いや気づきを項目を挙げて設定し、児童から問題を発見から解決までの過程で児童が働かせる数学的な学習・考え方を例示し、対話的な活動が充実するように工夫している。(6年P.6 P.147)</p>

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【理科】

調査研究観点	発行者：(東京書籍)		発行者：(大日本図書)		発行者：(学校図書)	
	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容
(1) 児童・能力の高成長に向けた工夫 ・3つの柱 知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びにむかう力、人間性等	・単元末「振り返り」したしあめよう」で思考力、判断力、表現力を身につけることを目的とした問題が多い。(5年P.111,112) ・関連性のある実験のグラフや表を並べて記載していて、思考力を育むものとなっている。(5年P.106)	・QRコードが固定された位置にある。(6年P.83) ・算数科の内容がQRコードの隣に記載されている。(6年P.9) ・SDGsとのつながりを示している。(6年P.209) ・SDGsとの関連性を持たせた内容にマークをつけて記載している。(5年P.51) ・防災についての付録が載っている。(5年巻末)	・単元末「ふりがえろう」で知識技能を振り返り返る問題が多い。(4年P.131)	・教科書を通してSDGsの主な目標が示されている。(巻末紙) ・図鑑の活用方法を示している。(6年P.220) ・QRコードを活用している。 ・ICTを活用すると効果的に学習できると考えられる内容の箇所にはCTマークを配置している。(6年P.33) ・算数科との関連(3年P.122)		
(2) 新しい時代に対応した工夫 ・ICTを活用した学習活動 他教科との連携 地域を活かした教材(明石市)	・QRコードのコンテンツは豊富である。使う場面がわかりやすい。 ・算数科とのつながりが巻末に掲載されている。(6年P.195) ・兵庫県は、あり。(5年P.67) ・明石市は、なし。	・単元導入の場面設定が児童の活動に基づくものとなっているとともに必ず見開きで載っている。(6年P.67) ・書かれている文字数を抑え、児童が考えやすいように配慮している。(5年P.146) ・「結論」とセットで抑えるべき語句が書かれている。(6年P.66) ・「たしかめよう」の後に「学んだことを生かそう」で日常の体験に基づいた課題が設定されている。(4年P.93)	・巻頭に、各学年における学習の流れを理科の「考え方」として示している。(4年P.5) ・導入部分に活動の写真や自然の事物、現象の写真などを提示している。(6年P.10,11) ・星座の配置を大きく図で示すことで、児童が星座に興味を示すきっかけとなっている。(4年P.80~P.83) ・育成する資質能力を「理科モンスター」として示していて、単元ごとに登場するキャラクターにより身につける方を視覚化している。(5年P.7 P.19)			
(3) 主体的な学びの工夫 ・見直し・振り返り ・問題を解決的な学習 ・問題解決ができるような工夫 課題発見ができるような工夫	・各単元の導入にある「レッツトライ！」問題をつかもう」の音動をもとに、主体的に対話的に問題をつかむことができる。(6年P.10,11) ・問題をつかもう」の中に問題解決を促すような質問が掲載されている。(6年P.11)	・ノートのとめめ方や記録のしかたを解説した巻末資料がある。(4年P.214~P.216) ・各学年で図鑑の活用についてふれている。(4年P.217)	・話し合いの仕方を「写つける」「伝える」「聞く」としてまとめられている。(4年P.188,189) ・考察に、具体的に何を考察するのかを示している。考察するためのきっかけとなる。(4年P.61)			
(4) 協働的な学びの工夫 ・言語活動を充実するための工夫 他者と協働できる工夫	・対話例から理科の見方、考え方を導いて自分の考えをもつて話し合うことができるようになっている。(6年P.10,11)	・読みやすくするために、文節で改行している。 ・当該学年で学習する漢字へふりがながふられている。 ・UDを活用している。 ・カラーUDを活用している。	・UDフォント、UDカラーを活用している。			
(5) 人権に配慮した工夫 ・ユニバーサルデザイン ・表記、表現…字体、文字 ・配列 …写真、挿絵 記号のわかりやすさ	・UD書体を活用している。 ・カラーUDを活用している。 ・人権教育へ配慮している。(男女の比率、障がい者、外国人の活用) (5年P.2) ・PTSDへ配慮している。(5年P.107)	・読みやすくするために、文節で改行している。 ・当該学年で学習する漢字へふりがながふられている。 ・UDを活用している。 ・カラーUDを活用している。	・UDフォント、UDカラーを活用している。			
(6) 教材の取扱いの工夫 ・配列、分量等	・写真が多く見やすい。 ・振り返りがイラストでイメージしやすい(6年P.23) ・教科書の学習順が季節に合わせた配列となっている。 ・冒頭で理科の分野に合わせて単元を分類分けしている。(全学年)	・紙面がA4判で、茶白が多く写真や資料が見やすい。	・大事な言葉、調べ方や使い方が目次とは別で巻末に記載している。(6年P.232) ・文字としての情報量が多く、細かく丁寧に記載している。(4年P.77)			

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【理科】

調査研究観点		発行者：（教育出版）		発行者：（啓林館）	
		調査研究内容		調査研究内容	
(1)	<p>資質・能力の育成に向けた工夫 -3つの柱 知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びにむかう力、人間性等</p>	<p>主に育てたい理科の「見方・考え方」が書かれていて、思考力・判断力・表現力を身に付ける手立 てとなっている。(3年P.6) ・「見方のカギ」考え方のカギ」をヒントに児童の学びが深まるようになっている。(6年P.9 P.12) ・単元の最後に「チャレンジ」として、学習したことを活用して学んだことを発展させる内容が載って いる。(3年P.68)</p>	<p>・単元の「くらしとリンク」で日常生活や社会に関連した語彙を掲載し、理科で学んだことが、どの ように日常生活や社会で活用されているのか考える習慣を身に付けることができるようになる。(5年P.50) ・「はじめに考えよう」「もう一度考えよう」で思考力、判断力等を高めることができる。(4年P.126) ・「はじめに考えよう」「もう一度考えよう」で学習前後の自分の変化をみることができる。(6年P.115 P.122)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
(2)	<p>新しい時代に対応した工夫 ・ICTを活用した学習活動 ・他教科との連携 ・地域を活かした教材（明石市）</p>	<p>・QRコードを精選した箇所に掲載している。(3年P.98,99) ・兵庫県とのつながりが掲載されている。(4年P.225) ・明石市は、なし。 ・国語科とのつながりが掲載している。(3年P.5) ・単元最初の「学習のつながり」で学年間の学習内容を確認できる。(3年P.34)</p>	<p>・SDGs、STEAM教育の説明を巻頭に掲載して、発展教材を扱うコーナーナーではマークを使って 明示している。(3年P.149) ・兵庫県の資料を写真で掲載している。(4年P.50など) ・ICTの活用の仕方が具体的に載っている。(巻頭) ・算教との連携が巻頭に載っている。また、社会との連携が単元のページに載っている。(4年 P.124 P.194) ・保護者、教員向けにも学習の方向性を示している。(各学年要覧紙) ・「With the Earth」では、防災と関連付けた内容が学年に際してまとめられていて、6年生では、そ れまでの学習内容が関連付けられていることを示している(5年P.24～P.27 6年P.145)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
(3)	<p>主体的な学びの工夫 ・見直し・振り返り ・問題解決的な学習 ・課題発見ができるような工夫</p>	<p>・実験のページになるとページの色が黄色に変わる。学びのスイッチが入りやすい。(6年 P.154,156) ・「結果から考える」があることで、学びを深めることができる。(4年P.48) ・単元ごとに「学習前」「学習後」の振り返りがある。(3年P.90)</p>	<p>・学年の大切にしたいところを明記している。(4年P.3) ・「1見つける 2調べる 3まとめる」を学びのサイクルとして示している。(3年P.2,3) ・問題解決のステップを「学びのライン」でつなぎ、見直しをもちょうくなくしている。 ・QRコードを掲載していることに加え、QRコードの内容も示している。(4年P.130)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
(4)	<p>協働的な学びの工夫 ・言語活動を充実するための工 夫 ・他者と協働できる工夫</p>	<p>・こどもの会話が書かれていて、対話するための材料として役立つ。(3年P.9) ・実験を行っている写真が複数の人が写っている。(3年P.57)</p>	<p>・問題解決の各場面の問題解決の鍵となる「見方・考え方・メーカー」を引いて、問題解決のヒントと なるように工夫している。(3年P.17) ・巻末に「伝える」「聞く」など話し合いの手だてをまとめて掲載している。(5年P.184)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
(5)	<p>人権に配慮した工夫 ・ユニバーサルデザイン ・表記・表現…字体、文字 ・配列 …写真、挿絵 記号のわかりやすさ</p>	<p>・PTSDへ配慮している。(5年P.122) ・UD書体を採用している。(6年P.174) ・文章の改行を工夫している。(単語の途中で改行しない 4年P.11) ・カラ―UDに配慮している。(6年P.158) ・人権教育に配慮している。(4年P.223)</p>	<p>・UDフォント、UDカラーを活用している。 ・教材写真の隣に色名が示されている。(6年P.102)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
(6)	<p>教材の取扱いの工夫 ・配列、分量等</p>	<p>・SDGsや関連動画を巻末に索引として掲載している。(6年P.222)</p>	<p>・結果や考察を観察・実験とは別のページに掲載し、児童の思考を促す工夫となっている。 ・用具の使い方を単元内でまとめていている。(6年P.90～P.97)</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【生活】

調査研究観点	発行者：(東京書籍)	調査研究内容	調査委員会	発行者：(大日本図書)	調査研究内容	調査委員会	発行者：(学校図書)	調査研究内容	調査委員会
<p>資質・能力の育成に向けた工夫</p> <p>3つの柱</p> <p>知識及び技能</p> <p>思考力、判断力、表現力等</p> <p>学びにむかう力、人間性等</p> <p>(1)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・気づきを自覚している児童の姿をイラストや写真を用いて具体的に示している。(上P.16)</p> <p>・学習の過程で、児童が思考したり表現したりする活動例を具体的に示している。(上P.18)</p> <p>・筆跡のちがいを比べやすくするためのイラストが構成されており、児童の気づきを促す工夫をしている。(上P.42等)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・観察やまとめ表現をする活用例として、ICT機器の効果的な活用事例を具体的に示している。(上P.16)</p> <p>・活動の様子やきまりなどを考えられるように動画を豊富に用意しており、自分の行動を振り返りやすい構成になっている。(上P.12)</p> <p>・単元の随所に合科的・関連的な指導例を掲載している。(上P.6等)</p> <p>・兵庫県の教材は、あり。(上P.25神戸市、姫路市 上P.65尼崎市)</p> <p>・明石市の教材は、ない。</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「がくしゅうどうぐく」に防災や安全に関する内容があり、児童が基本的な知識や技能を習得できるように工夫している。(上P.8等 下P.114等)</p> <p>・モノクロ写真を使用することで想像する楽しさや実際の色を知り、知る楽しさを実感できるように工夫している。(P.82,83)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「webがくしゅうどうぐく」では、児童の興味関心を高め、知識を深めていくことができるようにしている。(上P.131 下P.115)</p> <p>・デジタルコンテンツが随所にあり、学習に役立つ内容を見ることができ、学習を深められるようになっている。</p> <p>・他教科と関連が深い内容には関連がわかるマークがあり、生活科から他教科への学びを広げやすいよう工夫している。(上P.6等)</p> <p>・明石市及び兵庫県の教材は、なし。</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・単元末にもっと〇〇したいを設けて、これまで得た自信をもとに更なる課題や活動を広げたり、自分自身の生活につなげてきてるように配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>
<p>新しい時代に対応した工夫</p> <p>・ICTを活用した学習活動</p> <p>・他教科との連携</p> <p>・地域を活かした教材(明石市)</p> <p>(2)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「学びをふかめる」内で、主体的な学びが実践されている児童の姿を具体化した示している。(下P.14)</p> <p>・吹き出しなどを効果的に活用しながら、活動の振り返りや次の課題発見につながるポイントを表している。(下P.29)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「学びをふかめる」内で、主体的な学びが実践されている児童の姿を具体化した示している。(下P.14)</p> <p>・吹き出しなどを効果的に活用しながら、活動の振り返りや次の課題発見につながるポイントを表している。(下P.29)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「きもちまわく」を活用することで、まだ入学したばかりの児童にも振り返りをしやすいよう工夫している。また、そこから学びを深めることができるように、教師とのやりとりも具体的に示している。(上P.3等)</p> <p>・A4版になった紙面を生かし、原寸大や拡大された写真、イラスト(植物・生き物等)を多く用い、児童の身の回りにある植物や生き物と比べさせ、課題を発見しやすい工夫を定めている。(上P.38等)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「はなしかた名人」「ききかた名人」「話し合い名人」「はつばい名人」で話し合いや発表の仕方を詳しく示し、伝え合い活動を充実させる工夫をしている。(上P.31)</p> <p>・「きらきらことば」を設け、友だちとの円滑な関係を築けるよう語彙力を増やす工夫をしている。(上P.7 下P.9等)</p> <p>・「せいかつことば」を設け、児童の語彙力の向上、豊かな表現力を育む工夫をしている。(上P.38 下P.27等)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「カラードアザイン」をふまえた配色を工夫している。</p> <p>・SDGsに関する内容にはマークを明記し、児童が関心をもてるように工夫している。(上P.47等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>
<p>主体的な学びの工夫</p> <p>・異通し・振り返り</p> <p>・問題解決的な学習</p> <p>課題発見ができるような工夫</p> <p>(3)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・多様な他者と関わる場面や自らの気づきをあたりに伝え合う姿が、写真やイラストを用いて具体的に示しており、他者と協働的な学びの工夫ができるような構成となっている。(上P.70)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・多様な他者と関わる場面や自らの気づきをあたりに伝え合う姿が、写真やイラストを用いて具体的に示しており、他者と協働的な学びの工夫ができるような構成となっている。(上P.70)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・各単元ごとの導入や振り返りで、キャラクターたちが考えを出し合ったり、いっしょに活動する様子がかかれたりして、協働的で対話的な学習がイメージできるようにしている。(上P.88 下P.85)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・カラーUD、UDフォントを使用し、読みやすくしている。</p> <p>・教科書全体で使われている見出しや背景の色が、バステル調の優しい色使いになっている。</p> <p>・成長していく様子が手書きのタッチのイラストで描かれ、低学年児童や高齢者、外国の人などに親しみやすくなっている。</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「カラードアザイン」をふまえた配色を工夫している。</p> <p>・SDGsに関する内容にはマークを明記し、児童が関心をもてるように工夫している。(上P.47等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>
<p>協働的な学びの工夫</p> <p>・言語活動を充実するための工夫</p> <p>・他者と協働できる工夫</p> <p>(4)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・UDフォントを使用している。</p> <p>・色覚の多様性に配慮して、配色ややさしい色を使い、視覚的負担を感じさせないようにしている。</p> <p>・見出しなどをページの同じ場所に対応している。</p> <p>・大きさが違う紙面を重ねることで、教養習の植物の成長過程が比較できるような配列になっている。(上P.28等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。(下P.39) 表(4)から移置</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・UDフォントを使用している。</p> <p>・色覚の多様性に配慮して、配色ややさしい色を使い、視覚的負担を感じさせないようにしている。</p> <p>・見出しなどをページの同じ場所に対応している。</p> <p>・大きさが違う紙面を重ねることで、教養習の植物の成長過程が比較できるような配列になっている。(上P.28等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。(下P.39) 表(4)から移置</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・カラーUD、UDフォントを使用し、読みやすくしている。</p> <p>・教科書全体で使われている見出しや背景の色が、バステル調の優しい色使いになっている。</p> <p>・成長していく様子が手書きのタッチのイラストで描かれ、低学年児童や高齢者、外国の人などに親しみやすくなっている。</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「カラードアザイン」をふまえた配色を工夫している。</p> <p>・SDGsに関する内容にはマークを明記し、児童が関心をもてるように工夫している。(上P.47等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「カラードアザイン」をふまえた配色を工夫している。</p> <p>・SDGsに関する内容にはマークを明記し、児童が関心をもてるように工夫している。(上P.47等)</p> <p>・幼児や高齢者、外国の人などの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との関わりに配慮している。</p>	<p>調査委員会</p>
<p>教材の取扱いの工夫</p> <p>・配列、分量等</p> <p>(6)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・どの単元も12ページ前後で構成されており、児童が負担なく充実した活動ができるようになっている。</p> <p>・QRコードを充実させることで、紙面の掲載内容を厳選し、軽量化を実現している。(上)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・どの単元も12ページ前後で構成されており、児童が負担なく充実した活動ができるようになっている。</p> <p>・QRコードを充実させることで、紙面の掲載内容を厳選し、軽量化を実現している。(上)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・スタートカリキュラムとの連携や中学年の理科や社会との接続に配慮した内容になっている。(上P.1等)</p>	<p>調査委員会</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・スタートカリキュラムとの連携や中学年の理科や社会との接続に配慮した内容になっている。(上P.1等)</p>	<p>調査委員会</p>		

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

調査研究観点	発行者：（教育出版）		発行者：（光村図書）		発行者：（啓林館）	
	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容	調査研究内容
協働的な学びの工夫 ・言語活動を充実するための工夫 ・他者と協働できる工夫	・ワークシートを編纂に活用し、画面上で記入し、保存することで、児童同士、児童と教師との間で意見交流が共有でき、協働的な学びの助けとなっている。(上P.39 下P.37等) ・幼児や高齢者、外国の人などとの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との協働に関する教育に配慮している。	・様々な人と交流しながら、児童がのびのびと学習している姿が、イラストや文章・写真で示されており、一人一人を大切に支援している様子を日々目にすることで自己肯定感や安心感が育まれるようになっている。(教科書全体を通して) ・幼児や高齢者、外国の人などとの関わりをイラストや写真で示すことで、多様な他者との協働に関する教育に配慮している。表現方法として、言葉、対話だけでなく、絵や文章などの多様な表現方法が随所に示されていること、それぞれ目的に合わせて選択できるようにしている。(別冊上P.8 下P.7等)	・対語によって考えを広げたり、深めたりする場面が設定されており、児童が考える場面を示している。(上P.37) ・グループでの学習の成果物を示すことで、活動への見通しを保持させ、協働する喜びに気づかせる構成となっている。(下P.87) ・協働的な学習をしている様子をイラスト等で示しており、他者の意見を聞きながら学習することで、考えを深めたり、新たな視点に気づいたりする姿がイメージしやすくなっている。(上P.9 下P.8等) ・単元の最後には、表現し、伝える方法がイラストを中心に記されており、言語活動を繰り返す行い、力をつけていけるようになっている。(上巻P.32 下巻P.38等)	○	○	○
人権に配慮した工夫 ・ユニバーサルデザイン ・表記、表現…字体、文字 ・配列…写真、挿絵 ・記号のわかりやすさ	・QRコードが大きく、ほとんどが厚開き右上が左下の隅にあり、低学年の児童にもわかりやすく、読み取りやすくなっている。(上P.3 下P.6など) ・「イベント」や「やくやく」など、重要な情報が、見開き右側に掲載されている。(上P.13 下P.11など) ・SDGsにつながる活動がマークでわかりやすく示している。(下P.72 P.87)	・色紙の多様性に配慮しており、明確に識別できる配色となっているため、見やすい工夫をしている。(教科書全体を通して) ・文面で行が切れることがないように、文字数や字間隔が調整されており、読みが苦手な児童でも読みやすい配慮をしている。(教科書全体を通して) ・バリアフリーの観点から、ピクトグラムや点字など、多様な人々のために工夫している例がイラスト等で示されており、低学年児童が生活の中で意識しやすくなっている。(上P.17 下P.23 P.82) ・イラストが、イラストレーター「ヨシタケジキ」のヨシタケジキさんのもので、読みやすい。	・写真やイラストをページの同じ場所に配置し、比較しやすく見やすくしている。(上P.24等) ・見開き右下に児童の気づきや思いの具体的な言葉を示し、次の課題につながる構成になっている。(下P.87) ・例示されているイラストで幼児や高齢者、外国の人、障害のある人などが登場し、誰もが住みやすい社会を目指すようとする意識が自然に芽生えるようになっている。(教科書全体を通して) ・イラスト等で登場する男女は、性別によって服装などを固定しないように配慮している。(教科書全体を通して) ・文学のポイントはUDフォントを使用し、配色もシンプルな色合いで見やすい工夫となっている。(教科書全体を通して) ・単元ごとに、挿入→展開→振り返りを、わくわく→いきいき→ぐんぐんと色分けして表示していることで、指導の流れがイメージしやすくなっている。 ・SDGsについてわかりやすく示している。(下P.114,115)	○	○	○
教材の取扱いの工夫 ・配列、分量等	・教科書を貫いて「はっけんロード」を記し、たどっていくことで気付きの質を高めていけるようになっている。(下P.77～P.89)	・単元は季節に沿って構成しており、学習の流れがすっきりまとめられている本編と多彩で豊富な資料編が別冊で分けてあることで、原やすい工夫をしている。(教科書全体を通して)	・「がく(う)ずかん」や「びつ(う)ずかん」や「びつ(う)ずかん」や「びつ(う)ずかん」など豊に資料が用意されており、重点的、弾力的な活動ができるように工夫されている。(上P.34) ・季節に沿って単元が構成されており、同じ場所の季節ごとのイラストを掲載していることで、季節の移り変わりを比較しやすくなっている。(上P.16等) ・植物の種類と成長過程の写真を同じページに並べて掲載しているため、比較しやすくなっている。(上P.24等) ・低学年児童が読みやすい学習活動や学習材を取り上げ、児童が興味・関心をもって授業に臨めるようになっている。(教科書全体を通して) ・それぞれのページの基本構成が固定していることで、どの児童にも分かりやすくなっている。 ・どの単元も12ページ前後で構成されており、児童が負担なく、充実した活動ができるようになっている。 ・巻頭に1年生の学習の振り返りや巻末に3年生の学習へ接続する内容を配置している。(下巻)	○	○	○

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【英語】

調査研究観点	発行著者：(東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course)	発行著者：(開成堂 Junior Sunshine)	発行著者：(三省堂 Crown Jr.)	調査研究観点
<p>調査研究観点</p> <p>資質・能力の育成に向けた工夫 ・3つの柱 知識及び技能 思考力、判断力、表現力等 学びにむかっか、人間性等</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・自分が伝えたい内容に合う適切な言語材料を選び、思考・判断し、自分の考えを形成、再構築する活動に挑戦している。(5年P.12,13 6年P.10,11) ・単元の最初・3つの柱に対応した目標が明示されており、振り返り、自己評価の内容も充実している。 ・定着させたい言語材料へのアプローチの方法が豊富にある。学習活動がスベレラに配置されており学習が進むにつれて定着を図ることができるようになっている。(5年Unitローマ字指導)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・カテコリーごとに絵や写真がかりに単語の意味を学ぶことが出来るようにWord Bookがあり、教科書には関連用語カテゴリーや関連ページを掲載している。(5年P.25) ・Let's Watch and Think やAround the Worldの映像など世界文化に触れることが出来るようになっている。(6年P.20 P.22) ・学期の最後にはLet's Check や Interviewのコーナーがあり、自分の英語の定着度を確かめる設定となっている。また、児童が自分自身の成長や今後の課題を振り返ることが出来るよう構成もされている。(5年P.44 P.47)</p>	<p>調査研究内容</p> <p>・「聞くこと」語彙のこと「Lesson」の各パートでPanoramaから音声でのインプリントをたくさん行えるようになっている。(5年P.12,13) ・「読むこと」・「書くこと」は音声ややりとりなどで、自分が声に出した語彙や単語を学んだり写し取りできるようにしている。(5年P.45) ・イラストをタッチすると音声が聞けるようになっている。パターンプレーで弱い返答から、自分で文を作ったり、最後はやり取りをしたりと、学びやすい順で言語活動を構成している。(5年P.54～P.59) ・Step-upでは「Let's listen and read」があり、音を聞きながら文を読むことが出来るようになっている。(5年P.18)</p>	<p>調査研究観点</p> <p>新しい時代に対応した工夫 ・ICTを活用した学習活動 ・他教科との連携 ・地域を活かした教材(明石市)</p>
<p>(1)</p>	<p>・デジタル教科書では直感的な操作で音声を音声にアクセスすることやスクリーンショットをとってロイロノートと連携できるようにしている。友だちの考えの共有、教員への提出もスムーズに行えるようになっている。 ・他教科での学習を生かす内容が取り扱われ、各単元の冒頭にマークで示している。(5年P.30社会 P.62家庭科・算数 P.74社会 6年P.48社会 P.60理科) ・自分の住んでいる地域の歴史を「明石橋」の取り扱っている。 Digital Mapで兵庫の特産物として「明石焼」の取り扱っている。 ・文学指導に際してはとでも充実した内容で、さまざまなアプローチから定着を促して、中学校への接続を意識している。</p>	<p>各ページにQRコードがあり、自分で英語の音声を確認することが出来るようになっている。単元すべての音声や動画資料を確認することが出来るようになっている。(6年P.15) ・各単元の始めに、単元の内容と他教科との関連マークが印しされており、指導要領が定められるようになっている。(5年P.15) ・自分の町の好きなところを紹介する単元がある。また、その中の活動で、明石海軍大砲の写真が使用されている。(5年P.89)</p>	<p>・物語の世界にひたると「絵本」教材を掲載している。(6年P.38,39) ・ユニットの導入ページの全体の鳥通し図で(Hop-Step-Jump)、学ばべき内容を児童が把握できるようにしている。(6年P.10,11) ・ユニットの終わりのJumpにはゴールの達成度を段階のイラストで自己評価したり、記述したり出来る「ふりがえり」を設定している。(6年P.35) ・今日的な課題への関心を高めたりSDGsへの理解を深めたりすることが出来る豊富な題材を掲載している。(5年P.80 6年P.92,93) ・シミュレーションと見える化を工夫して、Hop-Step-JumpというUnit構成になっている。 ・中学で行われることの多いプロジェクト型の言語活動になるように工夫している。(6年P.104,105) ・目標と指導と評価の一体化のバックワークシートを実践している。Hello worldでは世界のスポーツや職業など児童の興味関心を世界に広げることが出来るようになっている。(6年P.92,93)</p>	<p>(2)</p>
<p>(3)</p>	<p>・英語が学びを促すストーリーとなっている。(6年P.23) 子どもたちと同一世代のキャラクターが成長する様子ストーリー一仕立てで展開している。 ・各単元の1ページ目には、本単元で学ばべきゴールが示されており、目標も図で掲載していたり、見開きでめあてを提示していたりや児童が見直しを持ちやすくしている。(6年P.51) ・巻末にはCAN-DOのページがあり、4領域で出来るようになることを振り返ることが出来るようになっている。(6年P.128) ・単元の初めにはテーマに関するきっかけとなるストーリーが掲載されているため、課題を発見しやすくなっている。(5年P.34)</p>	<p>・各ページにQRコードがあり、自分で英語の音声を確認することが出来るようになっている。単元すべての音声や動画資料を確認することが出来るようになっている。(6年P.15) ・各単元の始めに、単元の内容と他教科との関連マークが印しされており、指導要領が定められるようになっている。(5年P.15) ・自分の町の好きなところを紹介する単元がある。また、その中の活動で、明石海軍大砲の写真が使用されている。(5年P.89)</p>	<p>・物語の世界にひたると「絵本」教材を掲載している。(6年P.38,39) ・ユニットの導入ページの全体の鳥通し図で(Hop-Step-Jump)、学ばべき内容を児童が把握できるようにしている。(6年P.10,11) ・ユニットの終わりのJumpにはゴールの達成度を段階のイラストで自己評価したり、記述したり出来る「ふりがえり」を設定している。(6年P.35) ・今日的な課題への関心を高めたりSDGsへの理解を深めたりすることが出来る豊富な題材を掲載している。(5年P.80 6年P.92,93) ・シミュレーションと見える化を工夫して、Hop-Step-JumpというUnit構成になっている。 ・中学で行われることの多いプロジェクト型の言語活動になるように工夫している。(6年P.104,105) ・目標と指導と評価の一体化のバックワークシートを実践している。Hello worldでは世界のスポーツや職業など児童の興味関心を世界に広げることが出来るようになっている。(6年P.92,93)</p>	<p>(3)</p>

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査報告書【英語】

調査研究観点	発行著：(東京書籍 NEW HORIZON Elementary English Course)	発行著：(開隆堂 "Junior Sunshine")	発行著：(三省堂 Crown Jr.)
<p>多様な学びの工夫 言語活動を充実するための工夫 他者と協働できる工夫</p>	<p>調査研究内容 言語活動での使用頻度が高い単語やPDの他にデジタルライクンやアライにも掲載し、取り扱う単語が合計約1000語に増えている。 各Unitに言語活動の準備に役立つ会話練習動画の掲載がある。 教科書の中で、グループで協力して発音したり、やりとりをしながら行う活動が設定されている。(5年P.67 P.79 6年P.63 P.66) Digital Mapは日本や世界の名称や名物を簡単に調べることができ、音声も聞けるので言語活動を充実させるためのサポートになっている。</p>	<p>調査研究内容 Sound and Lettersをスモールステップで学習できるようにになっている。(5年P.31 6年P.27) 友だちと関わり合いながら英語を使って学べるような活動が多量に設定されている。(6年P.73) 各単元のActivityには、リアクションの例が提示され、コミュニケーションが一方的にならないようにしている。(6年P.19)</p>	<p>調査研究内容 ユニットの締めくぐりのJumpでは、これまで学習した表現や語彙を使って、目的や場面状況に応じて話す内容を考え対話や協働ができる活動が盛り込まれている。(5年P.34,35) Jumpボックスでは、さらに活動を広げたい時の場面や発表の方法を設定している。(5年P.36) ABC Fun Boxでは、文を組み立てるときに、主語・動詞・目的語の英語の語順が分かりやすいように、色分けして書き込むスペースを設けている。(6年P.52) また、文の進捗についても触れて学習できるようにしている。(6年P.53)</p>
<p>(4)</p>	<p>人権に配慮した工夫 ユニバーサルデザイン 表紙、表紙…字体、文字 配列 …写真、挿絵 記号のわかりやすさ</p>	<p>カラーUDの観点から、多くの児童が読みやすくなるようになっている。また、色合いも柔らかく、強色の強いものは使用していない。(5年P.70) 日本語はUDフォントを使用している。英語は手書きに近いオリジナルフォントとなっている。(5年P.112) 活動マークが使われ、一目で何をやるかが分かるようになっている。(5年P.16)</p>	<p>教科書全体に掲載されているQRコードからウェブサイトにアクセスでき、児童一人ひとりの学習状況や興味関心に応じて、個別最適な方法で学びをサポートすることができるようになっている。 「カラ・UD」への配慮をしており、色の見え方の違いで理解し難い箇所がないように配慮している。(5年P.59) Lessonの活動は各位置に配慮して、すべての児童が安心して学習できるようにしている。 「男閉き」ページで全体を見ても、英語も日本語も書いてある量が少ない。英語が苦手な児童に対して負担感が少なくない。 Let's play やLet's talkには、日本語で活動の流れを説明した資料をウェブサイトに用意している。(QRコードから接続)</p>
<p>(5)</p>	<p>中学生や中学校との接続も含め、2年間の学びを見通すことができるcan-doリストが「can-doの樹」として示してわかりやすくしている。(PD) 文字指導 (sounds and letters) が各単元末にあり、文字の名前→音→文の順番で、スモールステップで学習できるようにになっている。(5年ではアクセント、始めの音、終わりの音への慣れ、読み、6年では徐々に文を讀むことへ) まとまった音源から始めの音や終わりの音が同じであることへの気づきを促すようなコーナーがあり(6年SL 物語探検)、様々なアプローチで定着を図ることができる。</p>	<p>World Bookでは小学校や中学校でよく使う単語に☆が付いている、重要な言葉が分かるようになっている。(6年Word Book P.16) それぞれの活動の設定が日本語で書かれているため、1ページに書かれる分量も多いが、分かりやすくしている。(6年P.88)</p>	<p>言語材料は平易なものから段階的に配列し、十分なインプットの後、アウトプットする構成になっている。 Lessonの各パートは、展開まで時間1ページの構成であり、1時間の学びがわかりやすくなっている。 語彙は繰り返し返しチャンツなどで、何度も触れられるようになっている。 5年のはじめの「英語で言ってみよう」では、3・4年のLet's Tryで学習した語彙や表現をふりかえることができるようになっている。(5年P.6～P.9)</p>
<p>(6)</p>	<p>教材の取扱いの工夫 配列、分量等</p>	<p>◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。</p>	<p>○</p>

令和6年度使用用明石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【英語】

調査研究観点	発行者：(教育出版「ONE WORLD Smiles」) 調査研究内容	発行者：(光村図書 Here We Go!) 調査研究内容	発行者：(啓林館 Blue Sky Elementary) 調査研究内容
<p>読解・能力の育成に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの柱 ・知識及び技能 ・思考力、判断力、表現力等 ・学びにむかう力、人間性等 	<p>活動では、知識を活用できるように自分の意見を入れる場所が空欄になったり、共通の部分はないで書くようになっていたり、学んだことを生かすやすくなっている。(5年P.23 6年ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末には絵カードやジャンルがたくさん付いているので、活動などで使用しやすくなっている。(5年P.117) ・様々な国の文化を映像で見たり、英語で聞いたりして文化への理解を深められるようになっている。(6年P.24) ・ワークシートをためてポートフォリオとして活用できるようにしている。(6年P.88ワークシート) ・単元の活動が豊富なインプットから無理なくアウトプットにつなげられるようになっている。(5年P.76) ・Let's Say It Togetherは、聞くだけでなくかなりのインプットが期待できる。(5年P.76) ・英文の書き方が裏表紙に載っているため、いつでも確認することができるようになっている。(5・6年裏表紙) 	<p>・学期ごとに「まどめ」の活動が設定されており、前半では主に「聞く・読む」を、後半では「話す・やり取り・発表」・書く」の活動を行う。到達度が確認できるようになっている。(5年P.46～P.49 6年P.40～P.43)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Unitの活動に合わせてアルファベットの読み書きの学習が設けられている。(5年P.44,45 6年P.99) 	<p>・インプットからアウトプットの簡単な繰り返し、豊富なJingleやchantsで語句や表現に慣れ親しむことができるようになっている。(5年P.32～P.38 6年P.24～P.32)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションで大切なことを考えるようになっている。(5年P.38 6年P.32) ・各学期末のREVIEWで既習の表現を、場面や状況を変えて使用できるかを問い、思考力・判断力を鍛えられるようになっている。(5年P.38～P.40) ・Unit末のLockbackで学習事項を振り返り、学んだことを今後に生かすことを想起させる問いを入れている。(5年P.40 6年P.34)
<p>新しい時代に対応した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した学習活動 ・他教科との連携 ・地域を活かした教材(明石市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・Let's WatchやLet's Sing, Final ActivityにはそれぞれQRコードがけられている、音声や映像などの資料を見ることができるようになっている。(5年P.12) ・近畿地方の名産品をマップで紹介している。(5年P.67) ・Final Activityでは、タブレットも使って発表することがイラストで示されている。音声を確認するだけでなく、様々な活用ができるよう配慮している。(6年P.17) ・社会科の地図記号を英語で書く活動やSDGsを扱ったページなど他教科との関連も考慮した配列になっている。(5年P.94 6年P.41) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の紙面にあるQRコードから、アニメーションや実写の活動動画やリスニング音声が見聴できるようになっている。(5年P.17) ・国語と英語の言語の共通点や相違点を考えることができるようになってきている。(5年P.66) ・将来の職業や夢などキャリア教育にも配慮できるようになっている。(5年P.58 6年P.74) 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の地域、特産物、伝統文化など観力を広げる活動を設定している。(6年P.24～P.27) ・他教科の学習を生かす内容を設定している。(5年Unit6家庭科 6年Unit3総合(自分の住む地域の良さ・さらによくするためのアイデア) 6年P.103算数 5年P.105story理科(気の変化)) ・QRコードから「英文maker」にアクセスでき、自分が話したい文を作り、音声を聞くことができるようになっている。(Activity) ・豊富なQRコンテンツで家庭学習や自主学習に対応できるようになっている。
<p>主体的な学びの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異通し・振り返り ・問題解決的な学習 ・課題発見ができるような工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年の国語科教材「お手紙」や道徳科教材「はしのうさぎのおおみか」および「いりすさん」が英語を扱っている。児童が内容を分かっているため、英語の表現にも親しみやすい。(6年P.86 5年P.86 6年P.40) ・各単元の最初には、目標が書かれている。また、最後には知識技能、思考・判断・表現を振り返る活動を設定している。(5年P.19) ・主体的に取り組むことができるように、テーマと自分をつなげて考える活動を設定している。(5年P.63) ・主体的に取り組むことができるように、単元の初めにはFinal Activityとつながるようなテーマと自分をつなげて考える活動を設定している。(5年P.63) ・「はってん」のコーナーがあり、英語の力がある児童も主体的に取り組むことができるようになっている。(6年P.106) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書が一貫したストーリーになっている。 ・国際色豊かで個性豊かな子どもたちが、交流し、成長していくストーリーとなっている。原簿は、身近な存在として登場人物に親しみ、意欲を持って学習を進めることができるようになっている。(5年P.90) ・年間の学びが可視化されるように、5,6年生とも巻末に成果が一覧できるシートがついている。 ・学びの足跡をUnitごとに残していけるポートフォリオの役割を果たすシートがついている。(5年巻末 6年巻末) ・学年の目標を設定し、5つの領域ごとにできるよることになり、学習の目標が明確になっている。(5年P.8,9 6年P.8,9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「Story」,「Let's Read」の単元を設け、音声と絵をたよりに物語を読むようにしている。(5年P.104) ・Unitの最初に全体をGOALと3stepのめあてが明示してあり、見通しをもつて学習を進められるように工夫している ・各Unit最後のLOOKBACKのコーナーで目標を振り返ることができるようになっている。(5年P.40)

令和6年度使用明石市立小学校用教科用図書調査研究報告書【英語】

調査研究観点		発行者：（教育出版「ONE WORLD Smiles」） 調査研究内容		発行者：（米村図書 Here We Go!） 調査研究内容		発行者：（悠林館 Blue Sky Elementary） 調査研究内容	
		調査委員会 調査結果	調査委員会 調査結果	調査委員会 調査結果	調査委員会 調査結果	調査委員会 調査結果	調査委員会 調査結果
(4)	<p>協働的な学びの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動を充実するための工夫 ・他者と協働できる工夫 	<p>・フォニックスを意識した活動を各単元で設定している。また、有声音と無声音のペアを取り上げることで、音への認識を高めようとしている。(5年P.50)</p> <p>・友だちと関わり合いながら、英語を身に付けることができるように伝え合う活動を多く設定している。(5年P.33)</p> <p>・クラス全体で協働して取り組み、自尊感情を高めることができるような活動を設定している。(5年P.105 6年P.85)</p> <p>・ペアやグループでコミュニケーションを行う活動を必ず各単元で設定している。(5年P.19)</p>	<p>・コミュニケーションのポイントや言葉の準備運動のページを設けて、友だちと気持ちや学びを共有する工夫がある。(5年P.10,11 6年P.10,11)</p>	<p>・ペアやグループでのアクティビティが多く設定されていて、グループでアイデアを提案し合い気づきを使ひを深められるようになっている。(6年P.29)</p> <p>・友だちのことを記録に残せるように日本語での書きこみ欄を多く設けている。</p> <p>・言語材料に慣れ親しむためのインプット活動、それらを使ったアウトプット活動の繰り返しを豊富に掲載している。</p>			
(5)	<p>人権に配慮した工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン ・表記、表現…字体、文字 ・配列…写真、挿絵 ・記号のわかりやすさ 	<p>・色覚に配慮したカラーUDになっている。(全体)</p> <p>・日本語も英語もUDフォントが使用されている。(全体)</p> <p>・英語の4線は書きやすさにより4:5:4の比率になっている。(5年P.37)</p> <p>・活動や目的が帯で入っている。見やすくなっている。(6年P.55)</p> <p>・登場人物に車椅子の児童がいたり盲導犬の写真や手話の運用を扱ったりして、多様性を尊重した内容となっている。(5年P.11 P.53 P.85 P.87)</p> <p>・1ページの情報量が少なく、1つの活動に集中しやすくなっている。しかし、教科書は分厚くなっている。(5年P.90)</p>	<p>・読みやすい文字や、書きやすい4線の工夫をしている。(5年P.24,25 6年P.17)</p> <p>・色覚特性のある児童にも学習しやすい色使いを工夫している。</p>	<p>・UDデジタル教科書体が採用されており、動画やディスプレイなど多様な児童の学びに配慮されたデザインになっている。</p> <p>・デジタル教科書のリフロー、白黒反転、読み上げ、ルビなどの機能が内蔵している。</p> <p>・4線幅の比率が文字、小文字どちらの学習にも適した5:6:5を採用している。</p> <p>・色と色との境目を分かりやすくしたり色だけでなく文字の説明もあつたりする。(5年P.110 6年P.103)</p>			
(6)	<p>教材の取扱いの工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配列、分量等 	<p>・6年からは文構造を意識して取り組む活動があり、中学校への移行をスムーズにしている。(6年P.46)</p> <p>・1ページの情報量が少なく、1つの活動に集中しやすくなっている。</p> <p>・6年生は5年で学習した単語を振り返ることができるようなイラストのページがある。(6年P.6~P.9)</p> <p>・6年生からは文構造を意識して取り組む活動があったり視覚的に文構造を意識できるようにカードが色分けされたりと、中学校への以降をスムーズにしている。(6年P.46)</p> <p>・それぞれの単元は7時間構成になっている。5年生で67時間、6年生で62時間。ゆとりのある構成になっている。</p>	<p>・中学年で学習した言語表現に、構面を変えてスライダルに既習表現に出あわせることで、定着を図れるようにしている。(5年Unit1 Unit8)</p> <p>・各Unitは、7時間統一して、5,6年とも8個のUnit構成となっている。</p>	<p>・巻末のcan-dolist、評価頻率につながるように設定している。</p> <p>・unit-let's read and writeでは頭の音(初頭音)に重きを置いている。</p> <p>・映像から導入を図るなど、児童が抵抗なく英語に接することができるようになっている。(5年P.33 6年P.26)</p>			

◆調査したことを文章表記するとともに、内容的にすぐれている観点については、「○」を付ける。